



令和 4 年度

所沢市教育委員会の事務事業に関する  
点検評価報告書

( 令和 3 年度事業対象 )

令和 4 年 8 月

所沢市教育委員会

「所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書」は、「第2次所沢市教育振興基本計画（令和元年度～令和5年度）」の施策体系図に基づく主要施策を点検評価の対象としています。

## 第2次所沢市教育振興基本計画

### ■ 基本理念

みんなが持っている 三つの “宝” を掘り起こして大きく育てます

- 一 心身のたくましさ
- 二 未来を拓く知恵<sup>ひら</sup>
- 三 ふるさと所沢を愛する心

### ■ 基本方針

- 1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
- 2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
- 3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります

### ■ 計画を進めていくうえでの3つの視点

様々な分野と連携した横断的・総合的な教育

ふるさと所沢が持っている地域資源を生かした教育

持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）

# 目 次

<ページ>

1	趣 旨	1
2	点検評価の対象及び実施方法	
	( 1 ) 点検評価の対象	1
	( 2 ) 点検評価の実施方法	2
3	点検評価表の見方	2
4	施策体系図	3
5	最重点施策	6
6	学識経験者の意見・評価	
	( 1 ) 最重点施策に対する評価について	7
	( 2 ) 各施策に対する評価について	8
	( 3 ) 今後のあり方について	11
7	点検評価表	
	基本方針 1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます	
	基本目標 1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます	12
	基本目標 2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます	21
	基本目標 3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします	30
	基本方針 2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます	
	基本目標 1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます	34
	基本目標 2 誰もが、いつまでも身体を動かしたくなるマチをめざします	39
	基本目標 3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします	42
	基本目標 4 歴史・伝統文化を大切にし ふるさと所沢の魅力を高めます	46
	基本方針 3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります	
	基本目標 1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます	52
	基本目標 2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます	55
	基本目標 3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます	60
	( 3 ) 指標の達成状況	68
8	資料・教育委員会の活動状況	
	( 1 ) 令和 3 年度教育委員会会議の開催状況	74
	( 2 ) 令和 3 年度教育費予算・決算	75
9	むすび	78

## 1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条により、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成・公表することが義務付けられています。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

所沢市教育委員会では、この規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、事務事業の透明性を確保し、市民への説明責任を果たすため、平成 20 年度から「教育委員会の事務事業に関する点検評価」（以下「点検評価」といいます。）を実施しています。

本報告書は、令和 3 年度に実施した事務事業に対する点検評価についてまとめたものです。

## 2 点検評価の対象及び実施方法

### （1）点検評価の対象

所沢市教育委員会では、本市における教育の振興を図るため、令和元年度に、「第 2 次所沢市教育振興基本計画（令和元年度～令和 5 年度）」（以下「第 2 次計画」といいます。）を策定し、計画に基づいて教育行政を推進しています。

このことから、「第 2 次計画」の施策体系図に基づく主要施策を点検評価の対象とすることで、同計画の適正な進行管理を行うとともに、効率的な教育行政の推進に資するものです。

### （2）点検評価の実施方法

「第 2 次計画」は、3 つの基本方針、10 の基本目標、46 の主要施策から構成されており、教育委員会では、この施策体系に沿って重点的に進める事業を定めた単年度実施計画である「所沢市教育行政推進施策」（以下「推進施策」といいます。）を毎年度作成して、各施策を総合的・計画的に推進しています。

このため、「第2次計画」に掲げられた46の主要施策すべてについて点検評価表を作成して、現状と今後の方向性を点検評価するとともに、「推進施策」に定められた重点事業及び主要事業の実施状況についてもあわせて掲載しました。

点検評価表については、教育に関する学識経験を有する方からご意見・評価をいただいております。

・外部点検評価委員（敬称略）

秋草学園短期大学名誉教授		及川 道之
国立研究開発法人科学技術振興機構	主任専門員	川音 孝夫
所沢市社会福祉協議会	常務理事	美甘 寿規

また、「第2次計画」に示されている36の指標の達成状況についても確認を行い、その結果を巻末にまとめています。

### 3 点検評価表の見方

#### 施策の目標

「第2次計画」に掲げられた施策ごとの目標を記載しています。

#### 施策の内容と今後の方向

目標の実現のため、施策の内容、今後取り組んでいく方向を記載しています。

#### 主な事業の実施状況・評価

「推進施策」に定められた最重点事業、重点事業及び主要事業の実施状況について、令和3年度に実施した内容及び評価を記載しています。

## 4 施策体系図

基本方針	基本目標	主要施策	令和3年度の主要事業（太字は重点事業）
1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます	1 未来への一歩となる 確かな学力と自立する力を育てます	(1) 確かな学力の育成	「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業
			学習支援員配置事業
			学力向上支援講師配置事業
			教育課題に対応した学力向上推進事業
		(2) 伝統・文化の尊重とグローバル化に対応した教育の推進	確かな学力定着事業
			未来へ羽ばたく人材育成のための Tokorozawa English Action Plan (TEA-Plan)
			小学校外国語教育推進事業
			教育課題に対応した学力向上推進事業
		(3) 情報教育の推進	中学生海外文化交流派遣事業
			ふるさと研究活動事業
	(4) キャリア教育の推進	ICT推進事業	
	(5) 特別支援教育の推進	中学生社会体験チャレンジ事業	
	(6) 幼児教育の推進	特別支援教育支援員等配置事業	
	2 一人ひとりが持っている 思いやりのある豊かな心を育てます	(1) 道徳教育の推進	- その他の事業 - 所沢第二幼稚園運営事業
			豊かな心育成支援事業
		(2) 環境教育の推進	地球にやさしい学校づくり推進事業
		(3) 体験活動の推進	特色ある学校づくり支援事業
		(4) 読書活動の推進	学校司書配置事業
		(5) 生徒指導の充実	健やか輝き支援事業
			安全・安心な学校と地域づくり推進事業
		(6) 相談体制の充実	スクールカウンセラー学校派遣事業
教育相談アドバイザー支援事業			
健やか輝き支援事業			
教育相談事業			
3 心身ともに たくましく生き抜く 力を伸ばします	(1) 学校保健の充実	就学相談事業	
		園児・児童・生徒健康診断推進事業	
	(2) 学校給食・食育の充実	児童生徒食物アレルギー対応事業	
		学校給食センター再整備事業	
(3) 安全・防災教育の推進	学校給食食育推進事業		
(4) 体力の向上	健やか輝き支援事業		
			地域力活用運動好きな子ども育成事業

基本方針	基本目標	主要施策	令和3年度の主要事業（太字は重点事業）
2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます	(1) 学習機会の充実	<b>学習講座等開催事業</b>
		(2) 学習活動の支援	生涯学習情報紙発行事業
			IT相談事業
			生涯学習まちづくり出前講座事業
		(3) 学びの成果の活用	生涯学習ボランティア人材バンク運営事業
	(4) 人権教育の推進	人権教育推進事業	
		学校人権教育啓発資料発行事業	
	(5) 公民館事業の充実	公民館主催事業	
	2 誰もが、いつまでも身体を動かしたくなるまちをめざします	(1) 市民の健康・体力づくりの推進	<b>所沢シティマラソン大会開催事業</b>
			スポーツ教室開催事業
		(2) 競技会場の確保や交流機会の充実	<b>ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業</b>
	(3) スポーツに触れる機会の充実	スポーツ大賞表彰式開催事業	
		総合型地域スポーツクラブ支援事業	
	3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします	(1) 図書館サービスの向上	所沢図書館分館施設管理運営事業
			コンビニエンスストア図書等取次事業
		(2) 生涯にわたる読書活動の推進	図書館利用推進事業
		(3) 資料収集と蔵書構成の充実	<b>図書資料収集・整理・保存事業</b>
	(4) 子どもの読書活動の推進	<b>子どもの読書活動推進事業</b>	
	4 ふるさと・伝統文化を大切にふるさとと所沢の魅力を高めめます	(1) 文化財の保存・活用・調査	<b>歴史的建造物整備活用事業〔新規〕</b>
			<b>土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査事業〔新規〕</b>
			鈴木家住宅調査事業〔新規〕
			埋蔵文化財発掘調査事業
		(2) 伝統芸能の維持発展	郷土の民俗芸能支援事業
		(3) 地域の文化財の掘り起こし	文化財公開活用事業
		(4) ふるさと研究の推進	<b>ふるさと研究活動事業</b>
	三ヶ島葎子資料室運営事業		
	(5) 郷土に関する資料の収集・保存・活用	資（史）料の収集・整理・保存・活用事業	

基本方針	基本目標	主要施策	令和3年度の主要事業（太字は重点事業）	
3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくりまします	1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます	(1) 家庭教育への支援	<b>家庭教育推進事業</b>	
		(2) 放課後の居場所づくり	放課後支援事業	
		(3) 青少年教育の推進	子ども会育成事業 所沢こどもルネサンス開催支援事業	
	2 地域とともに進む信頼される学校づくりを進めます	(1) 教師力・組織力の向上		中学校教科書改訂に伴う教科書等整備事業 [ 新規 ]
				小学校教科書改訂に伴う教科書等整備事業
				資質向上事業
				学校支援訪問事業
				学校法律相談事業
				部活動指導員配置事業
		(2) 特色ある学校づくりの推進	特色ある学校づくり支援事業	
	(3) 危機管理体制・学校安全の充実	安全・安心な学校と地域づくり推進事業		
	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます	(1) ICT 環境の整備		学校評議員活用事業
				「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業
				学校・家庭・地域の連携推進
				教育用インターネット回線整備事業 [ 新規 ]
				デジタル教科書導入事業（コンテンツ配信サービス導入）[ 新規 ]
		(2) 学校環境の整備・適正化		教育ネットワーク基盤ディスク増設事業 [ 新規 ]
				小学校校務用コンピュータ更新事業 [ 新規 ]
				小学校教育用コンピュータ周辺機器等更新事業 [ 新規 ]
				所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業
				学校トイレ改修事業
				小中学校 LED 化整備事業 [ 新規 ]
				教育センター新館外壁改修事業 [ 新規 ]
		(3) スポーツ活動の支援と環境整備		小学校施設整備事業
				中学校施設整備事業
				学校施設修繕・改修事業
				所沢市民体育館サブアリーナ雨水貯留槽防水事業 [ 新規 ]
(4) 社会教育施設の環境整備			総合運動場夜間照明灯 LED 化整備事業 [ 新規 ]	
			北中運動場用地貸付事業 [ 新規 ]	
(5) 就学にかかる経済的支援		富岡地区体育館屋根及び外壁改修事業 [ 新規 ]		
		公民館施設整備事業（吾妻公民館排煙オペレーター改修工事）[ 新規 ]		
(6) 多様なニーズに対応した教育機会の提供		公民館施設整備事業		
		就学援助事業		
		教育課題に対応した学力向上推進事業		



## 5 最重点施策

### - 令和3年度の最重点施策 -

「令和3年度 所沢市教育行政推進施策」では、次の3点を最重点施策として掲げ、取り組みました。

#### 1 ICT環境の整備による学びの保障

##### 〈重点事業〉

- ・ ICT推進事業
- ・ 教育用インターネット回線整備事業 [新規]
- ・ デジタル教科書導入事業（コンテンツ配信サービス導入）[新規]
- ・ 教育ネットワーク基盤ディスク増設事業 [新規]
- ・ 小学校教育用コンピュータ周辺機器等更新事業 [新規]

#### 2 相談体制の充実と教職員の資質向上

##### 〈重点事業及び主要事業〉

- ・ 「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業
- ・ スクールカウンセラー学校派遣事業
- ・ 教育相談アドバイザー支援事業
- ・ 健やか輝き支援事業
- ・ 教育相談事業
- ・ 就学相談事業
- ・ 教育課題に対応した学力向上推進事業
- ・ 資質向上事業
- ・ 学校支援訪問事業

#### 3 「ふるさと所沢」を感じられる、文化財の活用

##### 〈重点事業及び主要事業〉

- ・ 歴史的建造物整備活用事業 [新規]
- ・ 土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査事業 [新規]
- ・ ふるさと研究活動事業
- ・ 鈴木家住宅調査事業 [新規]
- ・ 資（史）料の収集・整理・保存・活用事業

## 6 学識経験者の意見

点検評価にあたり、客観性・透明性の確保という観点から、外部評価者として学識経験者3名からご意見・評価をいただきました。概要については、次のとおりです。

### (1) 最重点施策に対する評価について

最重点施策とは、単年度実施計画である「所沢市教育行政推進施策」で毎年度ごとに掲げ、取り組むものです。令和3年度は、「ICT環境の整備による学びの保障」「相談体制の充実と教職員の資質向上」「『ふるさと所沢』を感じられる、文化財の活用」を最重点施策として掲げ、事業に取り組みました。

#### 最重点施策1 ICT環境の整備による学びの保障

GIGAスクール構想にコロナ禍が拍車をかけるようにICTの環境整備が劇的に進み、目標指標の達成率も高い。一方で、課題として、教員の活用能力や指導力を引き出すための研修の充実が引き続き望まれる。

「ICT推進事業」において、「デジタル教科書活用研修会」や「情報モラル研修会」の実施を計画しているとあるが、今後、さらに求められる研修であると思う。時代の要請に応じて、引き続き、必要性の高い研修を実施してもらいたい。

「デジタル教科書導入事業(コンテンツ配信サービス導入)」についても、さらに必要性が高まっていくと思われるため、今後も進めてもらいたい。

また、ICT環境が整備されていない家庭においても、ICTを活用した学習ができるよう支援を引き続き行ってほしい。

コロナ禍におけるICT教育の成果と課題についての分析を進め、教職員が一体となって、児童生徒の学力向上に向けて取り組んでもらいたい。

#### 最重点施策2 相談体制の充実と教職員の資質向上

過去の事案を重く受け止め、とても力を入れて取り組んでいるという印象を受ける。引き続き、取り組んでもらいたい。

「スクールカウンセラー学校派遣事業」「教育相談アドバイザー支援事業」は継続して子どもたちの気持ちを受け止められるような、また少しでも前向きな気持ちになれるような相談事業が展開されるとよい。

「就学相談事業」については、例年相談件数が増加している。相談件数に応じて人員配置を増やすなど、さらに充実するとよいのではないかと推察する。

「健やか輝き支援事業」の相談件数が増加しているのではないかと推察する。3年に及ぶコロナ禍が児童生徒に与える影響ははかりしれないものがある。孤立、孤独、家庭の貧困、虐待など、様々な影響があることから、引き続き、相談体制の充実をはかる必要がある。家庭環境に問題があるケースや、高校進学後に引きこもりとなるケースが増加していることから、他機関との連携を密にして、総力を結集して臨む必要がある。

教師力・組織力の向上といった点からは、令和3年度から取り組んでいる「心のエネルギープロジェクト月間」や、精神科医の視点からみた自殺予防や自傷行為等への対応を学ぶ「ゲ

ートキーパー養成研修会」等の充実を引き続き図ってほしい。

児童生徒の心の悩みに寄り添い、「いじめの認知能力」を高め、その解消に向けて対応できる能力を教職員が身につけることが引き続き求められる。

### **最重点施策 3 「ふるさと所沢」を感じられる、文化財の活用**

コロナ禍であらゆる活動に制約がある中だからこそ「最重点施策」に掲げられたことはよいと考える。

「秋田家住宅」及びその周辺の整備と活用を図る「歴史的建造物整備活用事業」等の新規事業も立ち上がり、所沢駅周辺の回遊性にも寄与することから基本方針の策定が待ち望まれる。策定委員会の公募市民選出にあたっては、年齢要件を設けて公募を行ったとあり、20代から70代まで各世代の委員が集う構成となったということで、評価できる。様々な世代が文化財に興味関心を持つきっかけとなるよいアイデアである。

指標の達成状況では、「文化財保護にかかる事業の参加者数」の伸び悩みがみられたが、コロナ禍の影響によるものと推察する。こうした中で、コロナ感染対策を講じて「埋文教室」を開催し、2日間で92人の児童生徒が参加しており、よい取組である。子どもたちの興味関心をさらに深めてほしい。

「所沢市伝統芸能発表会」を市公式 YouTube チャンネルで公開しているように、映像等の活用は効果的であるため、今後も進めてほしい。

## **(2) 各施策に対する評価について**

### **基本方針 1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます**

#### 1-1-(1) 「確かな学力の育成」

「学び創造アクティブ PLUS」を施策の柱として、環境整備として人員配置、通信環境の整備など、子どもたちが学習しやすい環境が整えられているように思う。ステップアップ調査により評価を行っており、多面的な取組として評価できる事業である。

「確かな学力定着事業」では、市独自の学力調査（ステップアップ調査）を実施して、その結果を分析することにより、授業改善に活かしたとある。コロナ禍の影響でリモート学習や ICT を駆使した授業が進められたが、学力が伸びているのかどうかなど分析を行い、今後活かしてほしい。

#### 1-1-(2) 「伝統・文化の尊重とグローバル化に対応した教育の推進」

「未来へ羽ばたく人材育成のための Tokorozawa English Action Plan (TEA-Plan)」では、当事業の指標としている「英検3級相当の英語力を有する市内中学校3年生の割合」が49.3%という結果となり、所沢市の目標値45%を上回ったとあり、目標値や全国平均よりも高いことは評価できる。所沢市の以前の数値に比べると、ここ数年上がっているが、令和元年度に比べると、やや下がっている。その理由を分析し、事業に活かしてほしい。

#### 1-1-(4) 「キャリア教育の推進」

「中学生社会体験チャレンジ事業」は、コロナ禍の影響により、事業実施校は1校とい

うことだった。職場体験や社会奉仕体験は、児童生徒が主体的に将来を考えるという観点から、とても重要な事業である。引き続き事業を進めてもらいたい。

#### 1-1-(5)「特別支援教育の推進」

「特別支援教育支援員」「心身障害児介助員」が手厚く配置されている点は、評価できる。必要な支援が行き届くよう、今後も継続して手厚く対応してもらいたい。特別支援学級の新設・増設については、今後も積極的に進めるとともに、人材の確保もあわせて行ってもらいたい。

#### 1-1-(6)「幼児教育の推進」

幼児教育の推進のために「所沢市幼児教育振興協議会」が有効に機能している。今後も継続して事業を進めてもらいたい。

#### 1-2-(2)「環境教育の推進」

「地球にやさしい学校づくり推進事業」では、コロナ禍の影響を受け、地球にやさしい学校づくりの取組を本格的に行うことはできなかったということだったが、市では、2050年までに市内の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、環境問題に力を入れている。学校教育においても、引き続き、環境教育の推進に努めてもらいたい。

#### 1-2-(4)「読書活動の推進」

学校図書館図書標準については、特別支援学級新設などクラス数の変動により、標準の数値に変化があるものと思うが、学校ごとの実情に合わせて、図書の充実を進めてもらいたい。

子どもたちにとって図書館を使っでの学習は重要であり、図書や資料の活用方法など、ICTの併用も含め身につけられるよう、指導の工夫に努めてもらいたい。

#### 1-3-(2)「学校給食・食育の充実」

市の給食メニューの考案や、広報を積極的に行っており、懸命に取り組んでいるものと思う。

子どもたちの給食の時間が楽しくなるよう、今後も所沢の特色を活かせるよう工夫してもらいたい。

「学校給食センター再整備事業」では、PFI方式による建設・運営の委託先を決定したということだった。PFI方式を用いることにより、従来方式に比べて、財政負担額を8.7%削減できるということで、よい取組である。

#### 1-3-(4)「体力の向上」

コロナ感染対策に配慮しながら出来ることに取り組んでいるという印象である。今後は、少しずつ緩和され、活動内容も変わってくると思うので、工夫して事業を進めてもらいたい。

新体力テストを実施し、総合評価5ランク(A~E)のうち、上位3ランク(A~C)の割合が小中学校ともに大きく下降したとあるが、コロナ禍で運動が制限されたことが要因の一つであると推察されるが、その他の要因についても、分析するとともに、今後も関係機関と連携して児童生徒の体力向上に向けて事業を進めてもらいたい。

## 基本方針 2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます

### 2-1-(1)「学習機会の充実」

コロナ感染対策に配慮しながら、少しでも学習の機会を提供しようと取り組んでおり、今後も継続して進めてもらいたい。

### 2-1-(2)「学習活動の支援」

「IT 相談事業」では、パソコン等に不慣れな高齢者が多くいる中で、必要な事業であるため、今後もより一層力を入れて取り組んでもらいたい。

### 2-1-(5)「公民館事業の充実」

従来どおりの公民館事業を開催できない状況の中で、コロナ感染対策に配慮しながら、再開に向けて工夫されている。

### 2-2-(1)「市民の健康・体力づくりの推進」

「スポーツ教室開催事業」では、コロナ禍の影響で例年どおりの活動はできなかったということであるが、コロナ感染対策を徹底した上で事業を実施し、延べ 3,506 人の参加があり、市民の体力づくりに寄与できた点は評価できる。

### 2-3-(1)「図書館サービスの向上」

「所沢図書館分館施設管理運営事業」では、「令和 4 年度から新たに狭山ヶ丘分館でも夜間開館を実施し、引き続き全ての分館での祝休日開館などを行います。」とあり、意欲的でよい取組である。

「コンビニエンスストア図書等取次事業」では、「引き続き市民から要望の多い地区を中心に店舗数の増加に努めます。」とあり、コロナ禍における利用者のニーズは高いと思われることから引き続き、取次店舗の拡充に努めてもらいたい。

### 2-4-(2)「伝統芸能の維持発展」

コロナ感染対策を講じて「所沢市伝統芸能発表会」を開催し、郷土の民俗芸能を支援できたことは評価できる。また、当日の様子を市公式 YouTube チャンネルで公開しており、効果的な取組である。

## 基本方針 3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります

### 3-1-(1)「家庭教育への支援」

IT の活用等の新しい事業手法も試みながら、事務の見直しに努めるとあり、よい取組である。

夕方や、仕事の合間であれば参加できる人も多いと思われるため、多くの人が参加できるよう、今後も工夫してもらいたい。

### 3-1-(3)「青少年教育の推進」

「所沢こどもルネサンス開催支援事業」では、オンライン会議システムを利用した講座を実施したとあり、工夫されており、よい取組である。

### 3-2-(1)「教師力・組織力の向上」

「部活動指導員配置事業」に関連して、部活動のあり方については、学校教育課だけでなく、関係各課が連携して、今後考えていく必要性があると感じる。教員の負担軽減が図れればよいと考える。

### 3-3-(2)「学校環境の整備・適正化」

「学校トイレ改修事業」により、学校トイレの環境は改善し、使い勝手が良くなり、衛生的になっている。

「所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業」は、滞りなく完了したということで、今後も引き続き、児童生徒の安全確保の観点からも適宜危険個所の点検を行って、災害等に備えてほしい。

学校環境の整備事業については、目標値を上回り積極的に進められ、評価できる。

### 3-3-(5)「就学にかかる経済的支援」

再審査の審査方法変更による支援の拡充を行ったということで、コロナ禍の影響もあり家計が急変する世帯が多くある中で、保護者負担の軽減となるよい取組である。引き続き、他機関とも連携を密にして、必要な世帯に必要な情報の周知に努め、保護者負担の軽減をはかってもらいたい。

## (3) 今後のあり方について

点検評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき実施するものであるが、事業を進めるにあたっての課題を可視化し、日頃の業務を改善することが目的であると考え。その趣旨に則って、具体的な課題が挙げられている記載もあるが、課題等の記載が少なく、点検評価報告書そのものが目的になってしまっていると感じられる記載もあった。毎年のルーティーンにならずに、担当者が代わっても事業の問題点を共有し、事業に活かしてほしい。

記載内容について、「施策の内容と今後の方向」「評価」といった項目ごとの書き方が、事業によって異なる印象で、全体的に記載の仕方を揃えたとわかりやすくなると思う。

事業の評価については、事業が効果的なのか判定するものであり、第三者が期待するのは、例えば五段階評価でいくつなのか、理由とともに知りたいものと思う。数値で測れるものばかりではないので、数値の評価でなくなったことは理解できるが、「よく頑張りました」といった評価になってしまっているように感じる。

印象ではなく、具体的な課題を挙げ、事業に活かしてもらいたい。具体的な数値である、指標の達成状況に関連づけて評価しているものも少ない。達成率が前年度に及ばない指標がいくつかあるが、理由の分析を行い、事業に活かしてもらいたい。

秋草学園短期大学 名誉教授

及川 道之

国立研究開発法人科学技術振興機構 主任専門員

川音 孝夫

所沢市社会福祉協議会 常務理事

美甘 寿規

## 7 点検評価表

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます

主要施策	(1) 確かな学力の育成	所管課	学校教育課、教育センター
------	--------------	-----	--------------

### 施策の目標

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの確かな学力や主体的に学ぶ態度を育成します。

学習支援員・特別支援教育支援員等を配置し、一人ひとりにきめ細かな支援を行います。

児童生徒が学習内容を深く理解し、必要な資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるように、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善を図ります。

○1人1台のタブレット端末配付に伴い、オンラインドリルを活用していくこととなり、市独自の「学びノート」については、必要に応じてホームページからダウンロードする方法にて、学校・家庭における効果的な活用を促進します。

全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、及び市独自の学力調査等の結果を分析して指導に反映させます。

### 施策の内容と今後の方向

○コロナ禍の影響はありましたが「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業を実施することができました。

各小中学校では、アクティブ PLUS の趣旨を踏まえ、工夫して学習に取り組み、子どもたちの実態に応じて、学力向上のために指導を行ってきました。

原則として教員資格を有する人材を、学習支援員として全小中学校に1人ずつ配置し、少人数指導等、各校のニーズに応じたきめ細かな指導を行いました。

市独自の学力調査「所沢市ステップアップ調査」、全国や県の学力・学習状況調査等を実施することで、児童生徒の学力を把握し、授業改善に生かしました。

基本的な生活習慣について、保育園・幼稚園・認定こども園と連携して幼少期から啓発指導を図ります。

学力向上支援講師配置校では、児童生徒へのきめ細かな指導が可能となりましたが、その効果について、埼玉県学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果の経年変化と合わせ、今後も引き続き確認していきます。

全校に対して、「学び創造アクティブ PLUS」進捗状況調査を実施し、今年度の成果と次年度への課題を明らかにするとともに校・園長会等で周知し、さらなる充実を図っていきます。

### 主な事業の実施状況・評価

事業名	「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業	所管課	学校教育課	決算額	2,110 千円
評価	<p>「メディアとの付き合い方」「家庭での役割」の取組推進の一環として「ウィークデイチャレンジ」シートを活用し、その結果をHPで公開しました。また、全校に対して進捗状況調査を実施し、結果を校・園長会等で周知しました。</p> <p>コロナ禍の影響はありましたが、今年度は、アクティブ PLUS の研究を進めることができ、研究委託校についてはオンデマンドではありますが、実践報告会を開催することができました。</p>				

事業名	学習支援員配置事業	所管課	学校教育課	決算額	56,505 千円
評価	<p>学習支援員を全小中学校に1人ずつ配置し、教科指導において少人数指導や、児童生徒の個に応じた支援など、各学校のニーズに応じた支援を行いました。</p> <p>個に応じた学習支援により、学力向上に貢献しました。</p>				

事業名	学力向上支援講師配置事業	所管課	学校教育課	決算額	30,376 千円
<p>学校クリエイト研究委託校等、学校の課題解決や積極的な教育活動の展開のために教員を必要とする学校に、学力向上支援講師を 12 人（小学校 5 人、中学校 7 人）配置しました。配置校においては、担任等が児童生徒と向き合う時間や教材研究・授業準備を行う時間が増えるとともに、児童生徒に対し多面的な視点から個に応じた支援を行うなど、きめ細かな指導が可能になり、学力向上に貢献しました。</p>					
評価	<p>県費負担教職員と連携して、教職員の負担軽減や児童生徒へのきめ細かな指導の実施を推進し、学力向上に貢献しました。</p>				

事業名	教育課題に対応した学力向上推進事業	所管課	教育センター	決算額	432 千円
<p>「学び創造アクティブ PLUS 研究校支援研修」では、8 校の研究委託校に大学教授等の指導者を派遣し、校内研究を支援しました。令和 3 年度も通常の研修会の開催が困難だったため、研修会参加者は、授業や講演動画を収録した DVD や、オンデマンド配信した資料を視聴して受講しました。「教科等指導力向上研修・豊かな心育成支援研修」については、感染症拡大の状況に応じてオンラインを活用する等、開催方法を工夫して実施しました。</p>					
評価	<p>コロナ禍であっても、研修会の休止を約 26%に留め、14 の研修会を開催でき、501 名の参加者がありました。開催方法の工夫に努めたため、満足度「大変よかった」「ややよかった」の合計が 99% でした。</p>				

事業名	確かな学力定着事業	所管課	学校教育課	決算額	15,911 千円
<p>市独自の学力調査（ステップアップ調査）を実施し、その結果を分析することにより、授業改善に生かし、生徒への指導に役立てました。</p>					
評価	<p>学力調査等の結果を授業改善に生かし、生徒への学習指導や進路指導に役立てることができました。</p>				



基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます		
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます		
主要施策	(2) 伝統・文化の尊重とグローバル化に対応した教育の推進	所管課	教育センター、学校教育課 文化財保護課

施策の目標	<p>世界の平和と発展に貢献する市民を育成するために、日本及び諸外国の伝統や文化の違い等についての理解を深めます。</p> <p>ふるさと所沢の歴史、自然、文化等に対する理解を深めることを通して、生まれ育った地域に愛着をもち、社会の一員として貢献していこうとする態度を養います。</p> <p>令和3年度までの TEA-Plan の成果に基づき、小中学校7年間で英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、英語教育を通して、変化の激しいこれからの時代をたくましく生き抜く児童生徒の育成をめざします。</p>
-------	---

施策の内容と今後の方向	<p>教員や小学校外国語支援員を対象とした「英語サロン」の実施、小学校外国語活動・外国語科授業研修会や中学校外国語科授業研修会、英語教育推進教員養成研修会などを通して、各校の外国語担当の資質向上を推進します。</p> <p>○国の動向を踏まえながら、小中学校教員の資質向上を図るための研修会を通して、新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を目指します。</p> <p>○小学校外国語支援員や英語指導助手（AET）の派遣事業を通して、小・中学校7年間の英語教育の充実を図ります。</p>
-------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	未来へ羽ばたく人材育成のための Tokorozawa English Action Plan (TEA-Plan)	所管課	教育センター	決算額	0千円
評価	<p>小中学校7年間における英語教育の取組充実を図るため、小学校教員の実践に対し文部科学省の視学官からの研修会や、中学校教員が文部科学省の教科調査官からのオンライン研修会を実施しました。</p> <p>コロナ禍のため小学校教員は非集合型の研修会でしたが、研修会満足度「大変よかった」「ややよかった」が100%。中学校教員はオンライン型の研修会で、上記満足度の回答は100%でした。また、当事業の指標としている「英検3級相当の英語力を有する市内中学校3年生の割合」が49.3%となり、所沢市の目標値45%を上回りました。</p>				

事業名	小学校外国語活動推進事業	所管	教育センター	決算額	11,788千円
評価	<p>小学校に外国語支援員16名を派遣し、小学校の外国語活動・外国語科の支援を行いました。また、感染症対策を講じた上で、教員や外国語支援員を対象とした研修会「英語サロン」を実施しました。</p> <p>英語サロンの指導者を小学校教員に依頼し、本研修会の活性化や小学校教員の意識向上に努め、研修会満足度「大変よかった」「ややよかった」が98%でした。</p>				

事業名	教育課題に対応した学力向上推進事業	所管	教育センター	決算額	81,377千円
評価	<p>小中学校に英語指導助手15名を派遣し、外国語教育の充実及び国際理解教育の推進を図りました。</p> <p>中学校外国語科の学習指導充実とともに、小学校の外国語科・外国語活動の充実に貢献しました。また、英語指導助手が母国での経験を伝えることで国際理解教育の推進に貢献しました。</p>				

事業名	中学生海外文化交流派遣事業	所管	学校教育課	決算額	0千円
コロナ感染症拡大防止の観点から中止しました。					
評価	令和3年度は派遣を中止したため評価できません。				

事業名	ふるさと研究活動事業	所管	文化財保護課	決算額	9,526千円
<p>「ふるさと所沢」への愛着・理解を深めるため、次の事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示、企画展示（冬季企画展「ところざわ繁盛記～町場のくらし展」） 来場者 延べ1,216人</li> <li>・ふるさと研究講座探究編「ふるさとの音を訪ねて」（全4回シリーズ） 参加者：延べ139人</li> <li>・星空観望会「双眼鏡で月食を観察しよう！」 参加者：30組60人</li> <li>・体験学習会「狭山丘陵探検隊～冬ごしする虫たちをさがしてみよう」 参加者：7組16人</li> <li>・市民学芸員による民具・古文書調査、展示や体験学習への協力 参加者 延べ374人</li> <li>・小中学校初任者研修に講師として職員を派遣しました。 実施日：令和3年7月30日 対象：小中学校初任者研修対象教員 60人</li> <li>・市内小学校へ職員を派遣して出張授業を実施しました。 実施日：令和3年11月25日 対象：美原小学校3年生 94人</li> </ul>					
評価	事業内容に応じた感染症対策を講じて展示・講座・体験学習会等を開催しました。コロナ禍で参加人数は限られましたが、参加者アンケート結果はおおむね好評であり、「ふるさと所沢」への愛着・理解を深めることができました。				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます

<b>主要施策</b>	<b>(3) 情報教育の推進</b>	所管課	教育センター
-------------	--------------------	-----	--------

#### 施策の目標

児童生徒の情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能、問題解決・探究における情報活用能力（プログラミング的思考・情報モラル・セキュリティを含む）を育成します。

ICT を適切に活用した学習活動の充実を図るために、教員を対象とした研修・研究を推進します。

#### 施策の内容と今後の方向

- 児童生徒の情報活用能力を育成するために、教員を対象とした研修及び研究を推進します。
- GIGA スクール構想の実現に基づいて整備した ICT 環境を、効果的に活用した授業実践に向けた研修の充実を図ります。
- 液晶ディスプレイ等の ICT 機器や、デジタル教科書、オンラインドリル、授業支援ソフトの効果的な活用を推進します。
- 所沢市教育情報セキュリティポリシーの見直し、情報モラル研修会の実施等による情報セキュリティに対する意識の啓発に取り組みます。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	ICT 推進事業	所管課	教育センター	決算額	337,775 千円
	<p>GIGA スクール構想の実現に伴って導入した ICT 機器や各種アプリ・ソフト等について、ICT 活用研修会、Chromebook 応用研修会、デジタル教科書活用研修会、画面転送装置活用研修会を計画しました。コロナ禍で計画の延期や縮小が余儀なくされた中、ICT 活用研修会と画面転送装置活用研修会を実施しました。</p> <p>ICT 活用研修会では、中学校の特別の教科道徳の授業で、生徒が学習者用コンピュータ（Chromebook）を使い、学習管理ツールを用いて意見交流を行いました。生徒の意見を教師用 Windows タブレットで集約し、それを大型液晶ディスプレイで全体に共有する授業研究を行いました。研究協議では、デジタルとアナログの効果的な活用場面について話し合いました。</p> <p>画面転送装置活用研修会では、教師用 Windows タブレットや、児童生徒の学習者用コンピュータ（Chromebook）の画面を転送する方法や、画面転送装置単体で写真や動画を再生する方法等、機器の活用の仕方を、業者を招いた研修を行いました。</p> <p>今年度実施できなかった研修については次年度に延期して実施し、導入した ICT 機器や各種アプリ・ソフト等が授業において効果的に活用されるように計画します。</p>				
評価	ICT 機器等の整備が進み、その活用については研修を行うことにより授業技術の向上が図られました。				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます

<b>主要施策</b>	<b>(4) キャリア教育の推進</b>	所管課	学校教育課
-------------	----------------------	-----	-------

#### 施策の目標

将来働くことについて、関心・意欲がもてるよう、小中学生の発達段階に応じた体系的なキャリア教育\*を進めます。近隣にある事業所等で職場体験を行うことで、地域社会の仕組みを勉強しながら職業観・勤労観を育成します。

中学校の進路指導を充実させ、生徒自身が主体的に将来の生き方を考え、進路の選択、設計ができるようにします。

\* キャリア教育…一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

#### 施策の内容と今後の方向

小学校における「勤労生産体験」や「社会奉仕体験」では、地域で働く方と触れ合うことで、地域とのつながりや働くことの大切さを体感しています。また、「職業に触れる体験」につなげていくことができるように、体系的なキャリア教育を構築する必要があります。

職場体験学習（中学校）は、市内全15中学校で、1・2年生を中心に実施されています。学校では得られない体験をすることで生徒の職業観、勤労観、さらには、自己理解を深めるよい機会となっています。生徒からは、「事前の学習、職場体験、事後のまとめや体験新聞の作成を通して、職業をより身近にとらえ、将来の自分について考えを深めることができた」との声があります。

小中学校9年間を見通して、児童生徒が自らの生き方を考える教育を深める必要があります。

中学校における職場体験学習は、時期や日数など各校独自の取組となっています。受入条件の中に保菌調査を行うことが増えたことによる予算の確保、職場体験の受入先の継続的な確保をしていく必要があります。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	中学生社会体験チャレンジ事業	所管課	学校教育課	決算額	50千円
	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度における中学生社会体験チャレンジ事業実施校は5校でした。その5校につきましても、実施期間と規模を縮小して行いました。				
評価	市内の多くの中学校で社会体験チャレンジ事業は実施できませんでしたが、各校にて工夫を図り、企業講演を行ったり、映像資料を用いて学習したりすることで、生徒に望ましい職業観や豊かな感性を育む取組ができました。				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます		
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます		
主要施策	(5) 特別支援教育の推進	所管課	学校教育課

#### 施策の目標

障害のある子と障害のない子が共に学ぶことを追求するとともに、教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備し、インクルーシブ教育システム\*の充実を図ります。

長期的な視点で一貫した支援が行えるよう、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用を推進します。

\* インクルーシブ教育システム…障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。個別の教育的ニーズに応えるため、通常の学級、通級による指導、特別支援学級等、連続性のある多様な学びの場を用意しておくことが必要とされている。

#### 施策の内容と今後の方向

「支援籍学習\*」の実施促進と、交流及び共同学習の機会を頻繁に設けることで、心のバリアフリーに取り組んでいます。

「特別支援学級」の設置を計画的に行い、より多くの児童生徒が居住地の学校に通うことができるよう準備を進め、令和3年度に特別支援学級を小学校1校に新設、また、小学校1校に増設しました。これにより、令和3年度は、小学校全32校のうち27校、中学校全15校のうち11校への設置が完了しました。

「通級指導教室」における指導の充実により、対象児童生徒の支援に成果を上げています。

発達障害・情緒障害通級指導教室 … 小学校2校7教室、中学校2校4教室を設置（令和3年度設置状況）

難聴・言語障害通級指導教室 … 小学校2校5教室を設置（令和3年度設置状況）

各学校が作成した「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を把握し、必要に応じ指導・助言を行っています。

「特別支援教育支援員」を全小中学校の通常の学級に、また、「心身障害児介助員」を全ての特別支援学級設置校にそれぞれ配置し、支援体制を整備しました。併せて、校内の特別支援教育コーディネーターと連携しながら、配慮を要する児童生徒の学習支援や日常生活上の介助などを行いました。

特別支援教育支援員及び心身障害児介助員は、専門的な知識技能が必要となることから、資質向上を図るために任用後も定期的に研修を行っています。例年は春1回、夏2回の合計3回研修会を実施していましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の規模を縮小したり、オンデマンド形式での研修会を実施したりし、感染症対策を講じながら行いました。

特別支援学級の計画的な新設・増設を推進するにあたり、「心身障害児介助員」の増員に伴う予算並びに人材の確保、併せて各学校の特別支援教育コーディネーターや就学相談担当者、特別支援教育支援員等の資質向上を図る研修会を行い、特別支援教育の指導者育成を計画的に進めていく必要があります。

特別支援学級の計画的な新設・増設を推進するとともに、各学校と連携し、支援籍学習や交流及び共同学習をさらに充実させていく必要があります。令和4年度は、安松小学校に特別支援学級を新設し、美原小学校に特別支援学級を増設します。今後も引き続き、各年度の就学相談の動向や在籍児童生徒の学年、地域のバランス等をふまえ、順次計画的に設置を進めていきます。

\* 支援籍学習…通常の学級・特別支援学級・特別支援学校のそれぞれに在籍する児童生徒が、必要に応じて、特定の学習を他の学校や学級で行う形態。

主な事業の実施状況・評価

事業名	特別支援教育支援員等配置事業	所管課	学校教育課	決算額	177,190千円
<p>全小中学校に「特別支援教育支援員」を配置し、通常の学級における配慮を要する児童生徒に対する学習支援や、日常生活上の介助などの支援を行いました。特別支援学級設置校には「心身障害児介助員」を配置し、特別支援学級における配慮を要する児童生徒に対する学習支援や、日常生活上の介助などの支援を行いました。</p>					
評価	<p>学校及び保護者から、個々の児童生徒に対応したきめ細かな支援が行われているという感想があり、人的支援が有効に活用されています。</p>				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます

<b>主要施策</b>	<b>(6) 幼児教育の推進</b>	所管課	学校教育課、教育センター
-------------	--------------------	-----	--------------

<b>施策の目標</b>	<p>幼児期は人間形成の基礎が培われる時期であるため、遊びや生活を充実させ、調和のとれた心と体を育成します。子どもたちが健やかに成長できるように、「子育ての目安『3つのめばえ』<sup>*</sup>」等を活用し、保護者の子育ての意識を高めます。</p> <p>幼児教育振興協会を通して、就学前教育を支援するとともに、幼児教育から学校教育への滑らかな接続を図るため、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校で、子どもたちの交流する機会を充実させ、保育・授業参観とその後の研究協議等で顔の見える連携を進めます。</p> <p><sup>*</sup> 子育ての目安「3つのめばえ」…埼玉県教育委員会で示している小学校入学までに身につけてほしいこと。家庭向けの広報リーフレットが発行されている。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>市内5ブロックで構成される所沢市幼児教育振興協会において、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校教職員が情報交換を行いました。</p> <p>幼稚園・保育園・認定こども園と小学校とで互いに子どもの様子を参観する機会を設定し、課題を共有したことで、参加した園と学校との連携が進みました。今後は、コロナ禍における参観のあり方や、子ども支援センター（マーガレット・ルピナス）等との連携など、充実させる必要があります。</p> <p>「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業に幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携を位置づけ、幼児教育振興協会の協力を得て作成した「所沢市小1スタートカリキュラム」の周知とより一層の活用を図っていきます。</p> <p>市内小中学校で取り組んでいる「ウィークデイチャレンジ」について、就学前の保護者へも周知を図り、幼児期から生活習慣の改善に取り組んでもらうようにします。</p> <p>所沢第二幼稚園については、平成21年の所沢市立幼稚園運営協議会による「2園廃園が望ましい。」とする答申を受け、平成30年7月の教育委員会会議にて「廃止の時期については、廃止後の施設活用等の有効で適切な措置を講じたうえで決定するものとする。」と議決を得ております。なお、所沢幼稚園は、平成23年3月に廃園しております。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

<p>コロナ禍の影響により研修会の開催回数は例年より減りましたが、連携が必要な幼保こども園89園と小学校26校の滑らかな接続のため、情報交換会を行いました。</p>	
評価	<p>就学予定の児童の情報交換を行ったことで、幼児教育から学校教育への滑らかな接続につながりました。</p>

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます

主要施策	(1) 道徳教育の推進	所管課	学校教育課、教育センター
------	-------------	-----	--------------

施策の目標	<p>個人が直面する様々な状況の中で、主体性をもって誠実に向き合う意志や態度、豊かな心を育むため、家庭と連携しながら、学校の教育活動全体を通して道徳教育に取り組みます。</p> <p>道徳的実践力とともに人権意識を高め、他者の痛みにも共感できる豊かな人間性や、いじめを許さない心を育てます。</p> <p>道徳の授業を通して、「生命の尊さ」が実感できる教育を進めます。</p>
-------	--

施策の内容と今後の方向	<p>全小中学校で道徳教育の全体計画、道徳の年間指導計画を作成するとともに、校長が道徳教育推進教師を指名し、児童生徒の豊かな心を育むための授業改善を図りました。</p> <p>学校人権教育啓発資料発行事業では、各校から人権に関する作文・標語を募集し、編集委員会で選定された作品をまとめた人権文集「ともだち」を発行・配布しました。また、小中学校における人権教育を推進し、児童生徒の豊かな人間性を醸成することに努めました。</p> <p>家庭、地域と連携しながら、道徳教育のより一層の推進を図ります。</p> <p>各学校におけるいじめ防止基本方針を基盤に、「考え、議論する道徳」の授業を行い、より実効性のある取組を展開します。</p> <p>いじめを未然に防止するためには心の教育を一層充実させる必要があり、道徳教育の充実を図ることによって、児童生徒に他者の痛みを共有できる資質や生命を尊重する心を育てる必要があります。</p> <p>各小中学校において、道徳の授業を通して道徳教育の充実が図られるよう、研修会の内容を工夫・改善していきます。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	豊かな心育成支援事業	所管課	教育センター	決算額	27千円
評価	<p>「心と体の調和のとれた人間の育成」に向け、授業や学校生活等、教育活動全体を通して子どもたちの豊かな心を育成できるよう、最先端の情報発信や具体的な指導の在り方についての研修会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育研修会は、鹿児島講師と教育センターを Web 会議システムでつなぎ、集合した参加者へ指導をする形での研修会の実施をしました。</li> <li>・道徳科授業研修会では、文部科学省の教科調査官を招へいし、感染症対策を講じた上での研究授業と講演を実施しました。市内小・中学校の参加者は、授業と講演を収録した DVD を視聴して受講をしました。</li> </ul> <p>コロナ禍ではありましたが、開催方法を工夫したことで計 116 名の参加があり、研修会の満足度は「大変よかった」「ややよかった」を合わせて 100%でした。</p>				



基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます		
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます		
主要施策	(2) 環境教育の推進	所管課	学校教育課、教育センター 保健給食課

#### 施策の目標

市長部局と連携し、持続可能な社会の担い手を育てための環境教育（ESD<sup>\*1</sup>の視点）を行い、自然との調和を大切にすることを育てます。

児童生徒、教職員の環境意識を高め、環境に配慮した学校づくりを通して、持続可能な社会づくりの担い手を育てます。特に優れた取組を行った学校を「地球にやさしい学校大賞<sup>\*2</sup>」として表彰します。

<sup>\*1</sup> ESD… Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳される。現代社会の問題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。つまり、ESD は持続可能な社会づくりの担い手を育て教育。

<sup>\*2</sup> 地球にやさしい学校大賞…市と教育委員会が連携して、特に優れた環境活動を行った学校を表彰する取組。

#### 施策の内容と今後の方向

○令和3年度は、コロナ禍の影響を受け、「地球にやさしい学校づくり」への取組は行うことができませんでした。各学校では、できる内容を検討しながら環境教育を実践してきました。

『「はじめよう ECO 生活！」エコファミリー宣言』等への参加を呼びかけ、自然との共生やエコライフについての意識の向上を図りました。

○教育センターにおいて「ESD 調査研究協議会」を開催し、持続可能な社会の担い手を育て学校づくりについて研究し、「所沢市の ESD」の普及に努めました。また、会議についても Web 会議システムを活用し、感染症防止に配慮しながら、会の運営に努めました。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	地球にやさしい学校づくり推進事業	所管課	学校教育課	決算額	0千円
<p>コロナ禍の影響を受け、地球にやさしい学校づくりの取組を本格的に行うことはできませんでした。学校においても、できる範囲で資源回収、みどりのカーテン、節水、エコキャップ回収、食品ロス削減などの取組が行われました。</p>					
評価	各校が独自に取り組んだことで、子どもたちの環境や資源保護の意識が高まりました。				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます			
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます			
主要施策	(3) 体験活動の推進		所管課	学校教育課
<b>施策の目標</b> <p>地域の人・自然・文化とのふれあいなど様々な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性、そして「ふるさと所沢」を愛する心を育みます。</p> <p>家庭、地域などと連携し、すべての児童生徒が自然体験、職業体験、社会奉仕体験や世代間交流など、様々な体験活動の充実を図る「埼玉の子ども70万人体験活動<sup>*</sup>」を推進します。</p> <p>学校単位に農園を設置し、心身ともに発達段階にある児童生徒が農業体験活動を通して、生命や自然、環境や食べ物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身につけることをねらいとした「学校ファーム」の取組を推進します。</p> <p><sup>*</sup> 埼玉の子ども70万人体験活動…すべての児童生徒が自然体験、職業体験、勤労生産体験、社会奉仕体験や世代間交流を行うなど、家庭・地域・企業・NPOなどと連携して、発達段階に応じた様々な体験活動を進める埼玉県取組。</p>				
<b>施策の内容と今後の方向</b> <p>「みどりの学校ファーム」を全小中学校で実施しています。学校ファームでは、地域の方々や専門的な知識・技能を有する方の協力を得ながら、野菜作りや稲作などが行われました。農業体験を通じて、生産者への感謝の気持ちが育つとともに、自分たちが苦労して作った野菜を調理し、食べることで「食べ物を大切にしよう」「残さずに食べよう」という心が育つなど、食育においても大きな効果がありました。</p> <p>集団宿泊活動等の校外学習では、自然の中での、日常の生活では体験することのできない環境において見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活のあり方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるよう、各校の実態に合わせて行っています。</p> <p>児童生徒による主体的な活動とするためには、工夫の余地もあります。体験活動の一層の充実を図るため各校の様々な取組を市内小中学校で共有していきます。</p> <p>郷土の芸能・文化に触れる体験活動の更なる充実に向けて、啓発に努めるとともに、地域人材との交流による体験活動の充実を推進していきます。</p>				
<b>主な事業の実施状況・評価</b>				
事業名	特色ある学校づくり支援事業	所管課	学校教育課	決算額 11,890千円
<p>所沢第二幼稚園及び各小中学校が、創意工夫を凝らし、地域の特性を活かした、主に体験的な教育活動を実施しました。地域の特性を活かした活動として、「生活科や総合的な学習の時間等における地域の伝統芸能や地場産業の体験的な学習」「環境美化のための保護者、地域と連携した花壇への植栽」「地域の行事や清掃活動への参加」等が行われました。</p> <p>各校・園に対し、前年度の実績と今年度の計画を元に事業委託料を配当したほか、年度途中と年度末に、進捗状況の把握及び成果報告と次年度の計画についてヒアリングを行い、事業委託料の有効活用や本事業の周知方法についての助言など、各校・園の取組を支援しました。</p>				
評価	<p>活動を通して子どもたちの豊かな心や、主体的に学び自ら問題を解決する資質・能力を養うことができました。</p>			

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます

<b>主要施策</b>	<b>(4) 読書活動の推進</b>	所管課	学校教育課、教育総務課 所沢図書館
-------------	--------------------	-----	----------------------

#### 施策の目標

読書は子どもたちの言語感覚、想像力、知的好奇心等を高め、生活を豊かなものにしてくれます。学校図書館の活用をはじめ、地域のボランティアによる読み聞かせや朝読書等により、子どもたちが本を身近なものとして感じることができる環境の充実に努めます。また、家族ぐるみで読書を楽しむ家読（うちどく）を推進します。

司書教諭をはじめとした学校図書館を担当する教員を補助する学校司書を配置し、学校図書館を円滑に管理・運営するとともに、学校図書館の図書の実質を図ります。

#### 施策の内容と今後の方向

学校司書を小中学校全校（ ）に配置し、図書の整理や図書館活動についての充実に努めています。（松井小学校図書館を除く）

学校司書や図書ボランティアの支援を受け、学校図書館の書架の見出しづくりや飾り付け、図書の展示や修繕、児童生徒への読み聞かせ等、読書活動を推進しました。

松井小学校図書館の利用拡大について検討を行い、平成 29 年度から市内に勤務する幼児教育・学校教育に係る教職員等（幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校及び児童館の職員）に開放しています。

学び創造アクティブ PLUS において、家庭学習の習慣をすすめる中で、毎月 23 日を「家読（うちどく）の日」として、読書の充実に努めました。

学校図書館が備えるべき蔵書数の目安として学校図書館図書標準\*がありますが、この図書標準を満たしている学校は、令和 4 年 3 月現在、12 校にとどまっています。学校図書館図書標準を満たす学校が増えるよう、予算配分の見直し等で蔵書数の増加と更新に力を入れ、充実した蔵書を目指します。

\* 学校図書館図書標準（充足率）…公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数のことで、平成 5 年に文部科学省が定めたもの。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	学校司書配置事業	所管課	学校教育課	決算額	37,285 千円
令和 2 年度に完了した全校配置の効果を検証し、適切な配置に努めることが必要となります。					
評価	図書の配架や掲示物の工夫、図書だよりの発行等、児童生徒にとって利用しやすい学校図書館に整備・充実により、読書への興味・関心が高まり、図書館を利用する児童生徒が増えました。				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます

主要施策	(5) 生徒指導の充実	所管課	学校教育課
------	-------------	-----	-------

施策の目標	<p>児童生徒一人ひとりに対する理解に基づいた生徒指導を推進するため、研修等の充実を図り、教職員の資質向上に取り組みます。</p> <p>「所沢市いじめ防止基本方針」と各学校の実態に応じた基本方針にもとづく組織的な校内指導体制を確立するとともに、ネットトラブル等、複雑化・多様化するいじめの未然防止や解消を図る取組を支援します。</p>
-------	--

施策の内容と今後の方向	<p>本市では、過去、生徒の命に関わる重大な事案が発生しており、教育委員会としても非常に重い課題として受け止めています。このような痛ましい事案を二度と起こさないという強い決意の下、引き続き、以下の取組を行っていきます。</p> <p>「いじめ防止対策推進法」に基づき、「所沢市いじめ防止基本方針」と「所沢市いじめ対応マニュアル」を策定しています。児童生徒が安心してSOSを発することのできる学校の実現とともに、援助を求めることが苦手ないわゆる「目立たない児童生徒」の声なき声に耳を傾け、微かなサインに目を配るよう、各学校に徹底するとともに、いじめ防止等の対策を実効的に行う機関として、「所沢市いじめ問題対策委員会」に市内の現状を報告し、いじめ防止やいじめ発生時の対応について意見をいただき、取組に生かしています。</p> <p>教育相談体制の充実については、市費スクールカウンセラー（4人）を全中学校及び必要に応じて小学校に派遣し、心理の立場から児童生徒を支援しました。また、心のふれあい相談員（32人）を全小中学校に配置し、学校の教員、県費・市費のスクールカウンセラー、心のふれあい相談員が、連携して相談活動を行うことで、子どもの発するSOSを迅速に受け止め、問題の未然防止、早期発見、早期対応を充実させています。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	健やか輝き支援事業	所管課	学校教育課	決算額	58,961千円
評価	<p>健やか輝き支援室（心のふれあい相談員、安全安心対策推進員、生徒指導・いじめ問題対策員、心理士、いじめホットライン）では、生徒指導や心の悩み、発達障害等に関する相談、延べ34,754件に対応しました。</p> <p>生徒指導・いじめ問題対策員による非行防止、薬物乱用防止、ネットトラブル等の教室を39回実施しました。</p> <p>心のふれあい相談員15人を全中学校に、17人を全小学校に配置し、小中学校が連携して相談活動ができるようにしました。</p> <p>「所沢市いじめ問題対策委員会」を開催し、本市の現状及びいじめ問題発生時の対応について協議しました。</p> <p>各大学と連携し、次の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早稲田大学と連携し、学校が不応や発達障害などの困難な事例を抱えた児童生徒の事情を理解し、適切な支援を行えるよう、大学院生（15人）を学校に派遣し、学校における教育支援において着実な成果を上げました。</li> <li>・淑徳大学と連携し、不登校児童生徒の教室復帰に向けた個に応じた支援を行うため、学生を学校に派遣予定でしたがコロナ禍の影響により中止しました。</li> </ul>				
	<p>児童生徒を理解するための教職員の資質向上研修や市費スクールカウンセラーの配置、課題解消に向けての専門機関との連携などを通し、教育相談体制の充実を図ることができました。</p>				

事業名	安全・安心な学校と地域づくり推進事業	所管課	学校教育課	決算額	12,782 千円
	<p>令和3年度、「安全・安心な学校と地域づくり推進本部」(行政機関・警察・地域関係団体・中学校・高等学校等により組織する連絡協議会)の本部会議を2回行う予定でしたが、コロナ禍の影響により、1回目は書面開催、2回目は中止としました。令和4年度は感染症の状況をふまえながら、開催する予定です。近年、本市で発生している児童生徒の事件・事故の概要、中学校区ごとに組織する推進支部の活動、関係行政機関の活動について情報を共有し、下記の取組に生かしています。</p> <p>本事業の大きな4本の柱として、「いじめ撲滅」「交通事故防止」「地域行事への主体的参加」「地域ぐるみのあいさつ運動」を掲げています。例年、推進支部ごとに、登下校の見守り、校外パトロール、防犯講習会、あいさつ運動等の活動を行っています。</p> <p>【児童生徒の地域行事への参加人数】</p> <p>令和3年度 延べ2,102人 (令和2年度 1,092人)</p> <p>【推進員の活動状況】学校訪問・地域での支援</p> <p>令和3年度 延べ535回 (令和2年度 延べ679回)</p> <p>【支部会議の開催状況】</p> <p>令和3年度 5回 (令和2年度 1回)</p>				
評価	<p>コロナ禍の影響により、活動の一部に制約がありましたが、経験豊富な推進員が各学校を巡回するなど、きめ細かな支援ができました。</p>				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます

主要施策	(6) 相談体制の充実	所管課	教育センター、学校教育課
------	-------------	-----	--------------

### 施策の目標

すべての子どもたちが個性や能力を伸ばし、健やかに成長できるよう、家庭との面接相談やスクールソーシャルワーカー<sup>\*1</sup>による訪問、学校への教育相談アドバイザーの派遣等を通し、課題を抱える児童生徒やその保護者及び教職員の解決力を高める支援を行い、必要に応じて関係機関につなげる相談活動を推進します。

不登校の未然防止のために巡回や訪問による出向く支援や、教育支援センター「クwest」における不登校児童生徒への個別活動・集団活動等の社会的自立に向けた支援を強化します。

教職員を対象に、児童生徒理解を通し自己肯定感を高め、児童生徒の生き抜く力を育てる研修や研究、校内の相談体制の構築に必要な知識・理解を深める研修を行います。

「児童生徒の様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけるための教育」を進めます。

子どもの成長段階に応じた様々な課題（いじめ・非行問題行動・不登校・虐待等）に対し、学校や教育委員会の各機関が、専門家（心理士・警察 OB・元校長等）を含むチームを編成し、必要に応じて市長部局や他の専門機関等とも連携を図り、解決に向けた取組を進めます。

障害の特性や教育的ニーズ、保護者の意向を踏まえた就学相談の充実を図ります。

スクールカウンセラー<sup>\*2</sup>や「心のふれあい相談員」を配置し、学校の相談体制を整備します。

教育や心理を学ぶ大学生を小中学校に派遣し、学校不適応や発達障害等の課題を抱える児童生徒を支援します。

<sup>\*1</sup> スクールソーシャルワーカー…教育と福祉の両面に関して、専門的な知識・技術を有するとともに、児童等が置かれた様々な環境への働き掛けや、関係機関等とのネットワークを活用するなどにより、課題を抱える児童等に支援を行う専門家。県から所沢市に3人配置されている。

<sup>\*2</sup> スクールカウンセラー…臨床心理に関して高度な知識・経験を有し、いじめ・不登校等、生徒の心の相談に当たるとともに教職員や保護者への助言・援助を行う専門家。

### 施策の内容と今後の方向

本市では、過去、生徒の命に関わる重大な事案が発生しており、教育委員会としても非常に重い課題として受け止めています。このような不幸な事案を二度と起こさないという強い決意の下、子どもの成長段階に応じた様々な問題に対して、各機関が連携しながら次の取組を行いました。今後も、学校教育課と教育センターが連携し、保護者や学校が相談しやすい環境を整えます。

#### 教育センター

- 子どもたちが未来を主体的に生き抜く力を育めるよう、全ての教師が授業力や学級経営力を高め、学校の組織力の向上を図るといった目的の下、「心のエネルギープロジェクト」を進めています。今年度から、6・7月を「心のエネルギープロジェクト月間」とし、各校でメッセージと映像資料（「今、あなたがここにいること」「かけがえのないあなただから」の2本）を活用しました。このメッセージは市内全児童生徒とその保護者に配布し、映像資料は市内全小中学校で教職員及び児童生徒が視聴しました。市内全ての教職員が共通理解のもと、児童生徒の自己肯定感の醸成を図る取組を引き続き行います。あわせて、ゲートキーパー養成研修会において、精神科医の視点から、自殺予防や自傷行為等への対応の仕方を学び、児童生徒の微かな変化も見逃さず、適切な支援を行います。
- スクールソーシャルワーカーについては、今年度もコロナ禍の影響で、家庭環境が原因となるケースが増え、学校からの依頼が増えました。また、高等学校に進学したものの、通学できていない、引きこもり状態の生徒が増えたことにより、昨年度と比較し、高等学校に在籍していても登校の実態のないケースが増えました。学校教育課（健やか輝き支援室及び教育臨床研究エリア）

- ・各学校の児童生徒の声を受け止め、微かな変化に気づくことができるよう、市費スクールカウンセラー4人を市内全中学校に配置し、健やか輝き支援室心理士の指導の下、各学校の教育相談体制を充実させます。
- ・併せて、学校からの相談に電話一本で駆けつけるなど、初期対応の体制を整えるとともに、非行防止教室や薬物乱用防止教室、ネットトラブル等に対応した教室を実施しています。また、早稲田大学等の大学生及び大学院生を学校に派遣することにより、児童生徒への支援を行っていきます。

主な事業の実施状況・評価

事業名	スクールカウンセラー学校派遣事業	所管課	学校教育課	決算額	15,023千円
<p>市費スクールカウンセラー4人を、市内全15中学校を中心に派遣しました。市費スクールカウンセラーが行った相談件数は、延べ7,894件です。</p> <p>直接学校において相談業務を行い、埼玉県より派遣されているスクールカウンセラーや心のふれあい相談員と児童生徒の情報を共有し、子どもの発するSOSを迅速かつ的確に受け止めるよう努めました。</p>					
評価	児童生徒の心に寄り添う対応に努め、問題の未然防止、早期発見、早期対応につながっています。				

事業名	教育相談アドバイザー支援事業	所管課	教育センター	決算額	225千円
<p>本事業は、市内中学校の3年連続の命に関わる事案を受けて、二度とこうしたことを起こさないという強い思いの下、複雑ないじめ問題や自殺防止など学校が抱える課題解決のため、令和元年度途中に立ち上げました。今年度も、市内の小中学校に支援をすることができました。具体的には心理の専門家に学校巡回(スクリーニング)していただき、児童生徒の様子から個に応じた対応、学校の組織的な対応について、直接教職員にアドバイスをいただきました。また、医療の専門家には中学校の校内研修において、緊急対応等についての御講義をいただきました。</p>					
評価	学校巡回を実施した学校から「それぞれの特性に応じて詳細なアドバイスをいただき、知識を深められた」などの感想が寄せられ、児童生徒が安心して学校生活を送るための支援につながりました。				

事業名	健やか輝き支援事業	所管課	学校教育課	決算額	58,961千円
<p>健やか輝き支援室(心のふれあい相談員、安全安心対策推進員、生徒指導・いじめ問題対策員、心理士、いじめホットライン)では、生徒指導や心の悩み、発達障害等に関する相談、延べ34,754件に対応しました。</p> <p>生徒指導・いじめ問題対策員による非行防止、薬物乱用防止、ネットトラブル等の教室を39回実施しました。</p> <p>心のふれあい相談員15人を全中学校に、17人を全小学校に配置し、小中学校が連携して相談活動ができるようにしました。</p> <p>「所沢市いじめ問題対策委員会」を開催し、本市の現状及びいじめ問題発生時の対応について協議しました。各大学と連携し、次の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早稲田大学と連携し、学校が不適応や発達障害などの困難な事例を抱えた児童生徒の事情を理解し、適切な支援を行えるよう、大学院生(15人)を学校に派遣し、学校における教育支援において着実な成果を上げました。</li> <li>・淑徳大学と連携し、不登校児童生徒の教室復帰に向けた個に応じた支援を行うため、学生を学校に派遣予定でしたがコロナ禍の影響により中止しました。</li> </ul>					
評価	児童生徒を理解するための教職員の資質向上研修や市費スクールカウンセラーの配置、課題解消に向けての専門機関との連携などを通し、教育相談体制の充実を図ることができました。				

事業名	教育相談事業	所管課	教育センター	決算額	40,143 千円
<p>令和3年度の相談ケースも、これまでと同様に不登校と性格・行動に関する相談が大半を占めています。2回の感染拡大に見舞われましたが、感染症対策を施し、着実に相談活動を進めることができました。</p> <p>教育支援センターでは、感染拡大防止対策を行いながら、5月の開室から3月の最終日まで活動を行うことができました。自分らしくいられる居場所の提供、対人関係の中での自己表現、チャレンジしていくための安全基地という3つを重点に、個々の状態に合わせた活動プログラムに取り組みました。学校や担任との連携を適宜行い、社会的自立に向けたチャレンジを後押ししました。</p>					
評価	<p>教育相談件数は535件（前年度は458件）です。不登校につきましては、約93%（前年度は約83%）が好転しました。</p> <p>教育支援センターには68人（前年度は59人）が入室し、個に応じたきめ細やかな支援を行うことができました。</p>				

事業名	就学相談事業	所管課	学校教育課	決算額	3,991 千円
<p>保護者からの申込240件（前年度は192件）について、就学支援委員が児童生徒や保護者との面談及び観察、知能検査の実施等を通して、適切な就学先を決定しました。</p> <p>就学支援委員会の判断に対して、保護者がある判断と同じ就学先を希望したケースは全体の82%でした。就学相談は、継続的に時間をかけて行われていくものであり、保護者の同意が得られないケースでも、個に応じた現状を分析しながらその児童生徒にふさわしい教育形態を判断しています。</p>					
評価	<p>保護者からの申込があった就学相談について、就学先の決定を適切に行うことができました。</p>				



基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします

<b>主要施策</b>	<b>(1) 学校保健の充実</b>	所管課	保健給食課
-------------	--------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>心身の健やかな成長の土台となる「早寝・早起き・朝ごはん」等の取り組みを、機会を捉えて家庭に働きかけます。</p> <p>地域の関係機関や医師等と連携しながら、学校保健計画に基づき学校保健活動を推進し、学校環境衛生の維持と児童生徒の保健教育・保健管理の充実に努めます。</p> <p>喫煙・飲酒・薬物乱用等を防止するための教育や性に関する指導を、家庭・地域と連携しながら、児童生徒の発達の段階に応じて効果的に行います。</p> <p>子どもたちが健康で安全な学校生活を送ることができるよう、学校における食物アレルギー対応の充実に努めます。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>児童生徒の保健管理については、定期健康診断や日常の健康観察を通じ、児童生徒の健康に関する情報を的確に把握するとともに、健康保持増進を図ります。</p> <p>「性に関する指導」については、各小中学校において作成する「性に関する指導全体計画」を基に年間計画を作成し、計画的・組織的に進めるよう、各校に指導をしていきます。</p> <p>○食物アレルギーの対応について、学校において迅速かつ適切に対応できるよう校内での研修を実施し、体制の整備や保護者との連携を行います。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>園児・児童・生徒健康診断推進事業</b>	所管課	保健給食課	決算額	85,587 千円
	<p>学校保健安全法に基づき、小中学校では内科・歯科・眼科・耳鼻科の検診、身体測定、視力・聴力検査、結核検診、尿検査、心電図検査(小1、中1)、脊柱側湾症検査(小6)、幼稚園では内科・歯科の検診を行いました。</p> <p>また、児童が健康な状態で学校生活を開始できるよう、就学前年の10～11月に、就学時健康診断として、各小学校で内科・眼科・耳鼻科・歯科の検診、視力・聴力検査、体験授業を行いました。</p>				
<b>評価</b>	<p>令和3年度より導入した校務支援システム保健機能を活用し、迅速な事後措置を行うことができた等、健康管理の効率化を図ることができました。</p>				

<b>事業名</b>	<b>児童生徒食物アレルギー対応事業</b>	所管課	保健給食課	決算額	0 千円
	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、「所沢市立小中学校食物アレルギー対応検討委員会」は開催できませんでしたが、各校での食物アレルギーに関する課題について共有し、課題解決に向けて対応マニュアルを見直しました。各校からの報告された食物アレルギー発生事例を集約し、事故防止の徹底に努めました。</p>				
<b>評価</b>	<p>各校において、重大事故の発生防止に寄与しました。</p>				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます		
基本目標	3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします		
主要施策	(2) 学校給食・食育の充実	所管課	保健給食課

#### 施策の目標

安心・安全な学校給食を安定的に提供するため、老朽化した学校給食センターの再整備及び学校給食施設の衛生管理の徹底、調理機器等の整備を進めます。

地場産物を積極的に給食の献立に取り入れたり、子どもたちが学校ファームで栽培した野菜を給食に使用したりすることで、地域への関心、生産者や作物への感謝の気持ちを養います。

栄養教諭・栄養士を中心に学校全体で、食と健康に関する指導に取り組むとともに、家庭と連携して望ましい食習慣や基本的生活習慣を身につける取り組みを進めます。

残食率の低下をめざし、献立や調理の工夫をするとともに、栄養教諭・栄養士が教職員と連携し、給食時間の指導の充実に努めます。

#### 施策の内容と今後の方向

老朽化した第3学校給食センターに代わる新たな学校給食センターを、現在廃場となっている第2学校給食センター跡地を活用し、令和6年4月からの給食提供開始を目指します。令和4年度は既存建築物の解体、新学校給食センターの設計、建設を進めます。

地場産物を積極的に給食の献立に取り入れ、地域への関心、生産者や作物への感謝の気持ちを育てています。今後、農業振興課と連携し、安全で安心な地場産野菜を給食で使用できる体制を整えていきます。

栄養教諭・栄養士が学校と十分な連携を行い、食と健康に関する指導に取り組み、給食の残食率の低減、望ましい食習慣の形成を目指します。また、学校給食センターサマーフェスタ、学校給食展、食育フォーラムなど様々な事業を充実させ、学校、家庭、地域へ学校給食への興味関心を広げ食育を推進します。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	学校給食センター再整備事業	所管課	保健給食課	決算額	25,829千円
事業内容	<p>学校給食センター再整備事業について、PFI方式*による建設・運営の委託先を決定しました。</p> <p>地元自治会長、近隣住民に建設等について、個別に説明を行いました。</p> <p>*PFI方式...公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間部門の持つ経営ノウハウや資金(ファイナンス)を活用することで、低廉かつ良質な公共サービスを提供することを目的とした公共事業の手法。</p>				
評価	PFI方式を用いることにより、従来方式に比べて、8.7%財政負担額を削減。				

事業名	学校給食食育推進事業	所管課	保健給食課	決算額	17千円
事業内容	<p>6、7月には全校で「所沢牛」を使用した献立を提供し、市内で肉牛を育てる農家があること、生産者の思い等を知らせ、子どもたちへ地域の産業に興味関心を持たせることができました。</p> <p>11月には埼玉西武ライオンズの選手たちが食べている「若獅子カレー」を全校の給食で提供しました。コロナ禍で前向き・黙食の中ではありますが、子どもたちにとって楽しい給食時間となりました。</p>				
評価	<p>給食で「所沢牛」を提供することで、地産地消を学ぶことができました。</p> <p>埼玉西武ライオンズと官民連携で取り組み、食育の推進に努めました。</p>				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます				
基本目標	3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします				
主要施策	(3) 安全・防災教育の推進		所管課	学校教育課	
施策の目標	<p>学校や家庭、地域の実態に即した指導計画の作成と組織的な安全教育の推進を図ります。</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を実現し、安全教育の授業改善を行います。</p> <p>児童生徒自身に安全を守るための能力を身につけさせる安全教育の充実と、児童生徒の生活の場である学校の安全管理体制の充実を図ります。</p>				
施策の内容と今後の方向	<p>各学校で、学校や家庭、地域の実態に即した学校安全計画を作成し、組織的・計画的に安全教育を行いました。学校だよりやホームページ等で周知を図り、地域行事への積極的な参加を促し、児童生徒の地域の防災訓練への参加意欲と参加率を高めるように努めました。</p> <p>防犯カメラの活用やスクールガードとの連携、地域と協力して行う生徒指導パトロール等を通して多くの目で児童生徒を見守るとともに、教職員研修や安全点検を充実させ、関係部署と連携してさらに安全な学校をつくっていくことが必要です。</p> <p>安全教育の授業改善について、より体験的（消防署との連携）で必然性の高い（予告なしの防災訓練等）学習を行うなどの工夫を引き続き行います。</p>				
主な事業の実施状況・評価					
事業名	健やか輝き支援事業	所管課	学校教育課	決算額	58,961千円
評価	<p>健やか輝き支援事業の安全・防災教育の推進については、令和3年度、「安全・安心な学校と地域づくり推進本部」（行政機関・警察・地域関係団体・中学校・高等学校等により組織する連絡協議会）の本部会議を2回行う予定でしたが、コロナ禍の影響により、1回目は書面開催、2回目は中止としました。令和4年度は感染症の状況をふまえながら、開催する予定です。近年、本市で発生している児童生徒の事件・事故の概要、中学校区ごとに組織する推進支部の活動、関係行政機関の活動について情報を共有し、下記の取組に生かしています。</p> <p>本事業の大きな4本の柱として、「いじめ撲滅」「交通事故防止」「地域行事への主体的参加」「地域ぐるみのあいさつ運動」を掲げています。例年、推進支部ごとに、登下校の見守り、校外パトロール、防犯講習会、あいさつ運動等の活動を行っています。</p> <p>【児童生徒の地域行事への参加人数】</p> <p>令和3年度 延べ2,102人（令和2年度 延べ1,092人）</p> <p>【推進員の活動状況】学校訪問・地域での支援</p> <p>令和3年度 延べ535回（令和2年度 延べ679回）</p> <p>【支部会議の開催状況】</p> <p>令和3年度 5回（令和2年度 1回）</p> <p>コロナ禍の影響により、活動の一部に制約がありましたが、経験豊富な推進員が各学校を巡回するなど、きめ細かな支援ができました。</p>				

基本方針	1 子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
基本目標	3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします

<b>主要施策</b>	<b>(4) 体力の向上</b>	所管課	スポーツ振興課
-------------	------------------	-----	---------

<b>施策の目標</b>	<p>体力テストの分析結果を子どもと保護者にフィードバックすることで、個々の課題を明確にし、目標を持たせることで、子どもたちの運動意欲を高めます。</p> <p>スポーツ大会や教室等を実施するとともに、休み時間や放課後等に外遊びができる環境づくりに努めます。体を動かすことの楽しさを感じるにより、体力向上をめざすとともに運動好きな児童生徒の育成に努めます。運動部活動の安定した運営や生徒の技術力向上に取り組みます。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>令和3年度は、コロナ禍において市内各校が感染対策を講じながら、新体力テストを実施し、中学校体力調査の集計分析業務委託を行い、令和3年度において総合評価5ランク(A~E)のうち、上位3ランク(A~C)の割合が小中学校ともに大きく下降しました。感染症対策のため運動を制限することにより、子どもの体力にどのように影響したのか現状把握をするとともに、中長期的に体力向上を推進するため、体力向上推進委員と連携し、教員や児童生徒に向けて体力向上の運動例の提案や正しい計測の仕方等の周知を行っていきます。</p> <p>令和3年度も航空公園運動場にて親子ティーボール教室を行い、広い人工芝のグラウンドで快適に運動を行うことができました。今後も、各種事業の参加者数増加を図るため、実施形態の工夫及び周知の方法や回数の検討をします。</p> <p>所沢市民体育館がゴールボールのNTC競技別強化拠点として指定されていることから、ゴールボール協会と連携を図りながら、ゴールボールの体験事業や各種情報の発信、選手の強化・育成のために支援に努めます。</p>
--------------------	--

主な事業の実施状況・評価

事業名	地域力活用運動好きな子ども育成事業	所管課	スポーツ振興課	決算額	30千円
<p>児童生徒が運動する楽しさや喜びを感じられる機会づくりと、子どもを運動好きにし、体力向上を図るため、地域のスポーツ関係団体と連携して、所沢市のスポーツ資源や特色を生かした次の事業を行いました。</p> <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子手打ち野球&amp;ティーボール教室 親子合計 69組 153人 航空記念公園運動場</li> <li>・小学校対抗駅伝競走大会 コロナ禍のため中止</li> <li>・埼玉ブロンコスふれあいキャラバン 小学校3校 参加者 305人</li> <li>・埼玉西武ライオンズベースボールチャレンジ 小学校8校 参加者 506人</li> </ul>					
評価	<p>コロナ禍の影響により小学校対抗駅伝競走大会は中止しましたが、感染予防対策を講じた上で児童の体力向上や多くの児童にとって運動が楽しいと実感できる各種の事業を実施することができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます

<b>主要施策</b>	<b>(1) 学習機会の充実</b>	所管課	生涯学習推進センター
-------------	--------------------	-----	------------

<b>施策の目標</b>	<p>市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応し、誰もが気軽に参加できる講座や、資格取得・キャリアアップをめざす講座などの企画立案に努めます。</p> <p>多様な主体（産・官・学・民）と連携・協力を図り、市民の生涯学習の機会の創出や講座内容の充実に取り組みます。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>市民の学習に対する要望の高度化、多様化に対応するため、引き続き多種多様な学習機会の提供、参加者層の拡大を目指して、様々な世代の学習意欲に配慮した事業内容の充実、コロナ禍に対応した学習環境づくり、学習情報の提供を進めていきます。</p> <p>市民の学習を支援し学習の成果を社会に還元していくことを目指し、市民活動支援センターと連携を図りながら進めていきます。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	学習講座等開催事業	所管課	生涯学習推進センター	決算額	3,259 千円
・市民大学	<p>市民の誰もが参加でき、市民と行政が協働で企画・運営する学習の場です。ここでは、現代的課題*をテーマに学びを深め、同時に地域の仲間づくりを進めて、各人の自立した地域参加を応援しています。</p> <p>27期2年次グループワーク 回数：5回 受講者数：52人 延べ受講者数：329人（企画委員含む）</p> <p>28期1年次総合学習 回数：24回 受講者数：70人 延べ受講者数：1,852人（企画委員含む）</p> <p>*現代的課題・・・「健康関連食情報を考える」「世界の動きと日本」「地球環境」「脳の科学」の講座を実施。</p>				
・官学連携共催セミナー	<p>市内および近隣の大学・専門学校と所沢市教育委員会の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、高度化・多様化する市民の学習意欲に応えるために官学連携共催セミナーを開催しました。</p> <p>令和3年度実施：西武学園医学技術専門学校（2回） 秋草学園福祉専門教育専門学校（2回）</p>				
評価	<p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、市民のニーズに合わせた学習の機会を提供することができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます				
基本目標	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます				
主要施策	(2) 学習活動の支援	所管課	生涯学習推進センター		
施策の目標	<p>市ホームページや生涯学習情報紙などの情報ツールを効果的に活用し、生涯学習情報を積極的に発信することで、市民の学習活動を支援します。</p> <p>市民の学習活動を多方面からサポートする事業を実施するとともに、相談体制の充実を図ります。</p> <p>市政全般について市職員が説明し市政に関する理解を深めてもらう「まちづくり出前講座」をはじめ、地域課題をテーマとした学習会を実施し、まちづくりにつながる生涯学習の推進に努めます。</p>				
施策の内容と今後の方向	<p>生涯学習情報紙を発行することで、市民の自主的な活動を引き続き情報提供していくとともに、所沢市で実施している生涯学習に関連する事業の情報を発信していきます。</p> <p>市民の学習活動を支援する IT 相談について、類似の民間による有償サービスとは違い、相談者も相談員も市民であるため、市民目線で気軽に相談できる地域社会の福祉的なサポート事業として進めていきます。</p> <p>市民と行政の協働によるまちづくりにつながるよう、「まちづくり出前講座」を実施し、学習を通じて市政への理解を深めていきます。</p>				
主な事業の実施状況・評価					
事業名	生涯学習情報紙発行事業	所管課	生涯学習推進センター	決算額	17,785 千円
生涯学習に関する情報提供と発信を目的に生涯学習情報紙「翔びたつひろば」を広報ところざわへの折込により毎月全戸配布しました。総発行部数は、2,075,630 部でした。					
評価	「翔びたつひろば」を通じて、多くの市民に情報提供ができました。見開きの特集コーナーでは、様々なトピックスを取り上げ、充実した紙面を作成できました。				
事業名	IT 相談事業	所管課	生涯学習推進センター	決算額	359 千円
<p>パソコン操作に不慣れな高齢者をはじめとするパソコンを学習する個人の相談について、基本的な操作等を支援する事業として定着しています。新しい OS (Windows 11) がリリースされた影響もあり、コロナ禍でも多数の相談がありました。</p> <p>相談日は、第 1~4 火曜・金曜日 (午前・午後) で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 8 月と 9 月は休室しました。開催数は 152 回、相談者数は 374 人でした。</p>					
評価	市民目線からのサポートを行い、市民の IT スキル向上の一助となることができました。また相談者は 70 歳以上が多く、高齢者のデジタルデバインド (情報格差) 解消への一助となりました。				
事業名	生涯学習まちづくり出前講座事業	所管課	生涯学習推進センター	決算額	298 千円
<p>市政を広く市民に周知し、市政に関する理解を深めていただき、市民と行政の協働による「生涯学習によるまちづくり」につながることを願って「生涯学習まちづくり出前講座」を行いました。コロナ禍の影響により、感染対策が取られていることが確認できる公共施設のみの開催といたしました。申込件数は 12 件、7 回開催し、参加者総数は 155 人でした。アンケートの結果、開催された 7 件のうち、5 件から講座の内容は期待やニーズに沿うものだったとの回答がありました。(あとの 2 件は回答がありませんでした。)</p>					
評価	コロナ禍の影響により申込件数、参加者ともに少数にとどまりました。				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます

主要施策	(3) 学びの成果の活用	所管課	生涯学習推進センター
------	--------------	-----	------------

施策の目標	<p>自分の持っている様々な知識や技術を役立てたい人を登録し、学習をしたい市民に紹介する「ボランティア人材バンク」制度の周知と更なる活用の促進を図ります。</p> <p>市民の様々な学習活動が学びの絆となり広がっていくための場の創出として、市民の学習活動の紹介、各種交流事業の促進、ボランティア活動の推進や社会教育施設の運用の充実に努めます。</p>
-------	---

施策の内容と今後の方向	<p>ボランティア人材バンクの制度の周知と活用促進を図るため、PR イベントの実施とともに、利用を希望している市民に、登録講師の講座が体験できるような場を設けていきます。また HP の充実やメニュー等の定期的な更新をしていきます。</p> <p>市民の自主的な活動による、地域で活躍する人材・企業などを紹介する講演会や、地域の歴史・文化を伝える人材を育成する事業を支援していきます。</p>
-------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	生涯学習ボランティア人材バンク運営事業	所管課	生涯学習推進センター	決算額	350 千円
	<p>本事業は、学習の成果により習得した知識や技術を、知識や技術を求めている地域の方に役立ててもらうことを目的としています。</p> <p>例年、人材バンク制度の周知や知識を必要とする人材の出会いのきっかけの場として、市役所ロビーにおいて人材バンクフェアを開催していましたが、コロナ禍の影響により2年度末の事業が延期され、3年度の5月と2月に実施しました。フェアの際に1分間の講師PR動画を撮影、編集し、インターネットで公開しました。</p> <p>また、市民活動支援センターと連携し、同センターが運営しているところんWEBを人材バンク登録者が利用できるよう、調整を図りました。</p>				
評価	<p>コロナ禍の影響で思うようにPRが出来ませんでしたが、人材バンク登録者への講座依頼があり、多少の効果が確認できました。今後は感染症の流行時期を避けて人材バンクフェアを開催し、制度の活用促進につなげていきます。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます		
基本目標	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます		
主要施策	(4) 人権教育の推進	所管課	社会教育課、学校教育課

施策の目標	<p>個人の尊厳が守られ、誰もがいきいきと暮らせる明るい地域社会の実現をめざし、あらゆる世代が人権問題を考え理解し、相手の立場を考えて行動できるよう、関係機関とも連携した学習の場を充実し、一人ひとりの人権意識の高揚を図ります。</p> <p>市内小中学校の教育活動を通じて、一人ひとりを大切にする教育を推進するとともに、基本的人権を尊重し、人権問題を理解し解決しようとする子どもの育成を目指します。</p>
-------	---

施策の内容と今後の方向	<p>市民一人ひとりの人権意識の高揚は、人づくり・まちづくりの視点からも重要です。人権尊重社会の実現は国際的な課題となっており、様々な人権課題について学習し、人権問題に対する理解と認識を深めるため、関係機関とも連携して、今後とも継続していく必要があります。</p> <p>「いじめ防止対策推進法」をもとに平成26年2月28日に策定した「所沢市いじめ防止基本方針」を令和元年12月に一部改定しました。このことを受け、小中学校における各学校のいじめ防止基本方針の改定も行い、実効性を高めるための具体的な取組となるようにしていきます。</p> <p>埼玉県で行っている11月のいじめ撲滅強調月間では、市内小中学校がそれぞれ考えた、いじめを根絶していくための啓発活動について取り組み、人権教育の推進を図っています。</p> <p>いじめを未然に防止するためには心の教育を一層充実させる必要があります。道徳教育の充実を図ることによって、児童生徒に他者の痛みを共有できる資質や生命を尊重する心を育てる必要があります。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	人権教育推進事業	所管課	社会教育課	決算額	534千円
評価	<p>所沢市人権教育推進協議会と連携して、人権意識啓発のため、人権教育講座の開催、リーフレットの配布、人権啓発映像資料の貸出などを実施しました。</p> <p>【人権教育講座】家庭教育学級人権教育合同講座（計4回実施 参加人数合計171人） 人権教育ブロック別研修会（計4回実施 参加人数合計122人）</p> <p>【啓発DVD貸出】小中学校での教員研修等（延べ1,289人視聴）</p>				
事業名	学校人権教育啓発資料発行事業	所管課	学校教育課	決算額	261千円
評価	<p>各校から人権に関する作文を募集し、編集委員会で選定された作品をまとめた人権文集「ともだち」を発行・配布することで、小中学校における人権教育を推進し、児童生徒の豊かな人間性を醸成することに努めました。この人権文集「ともだち」は小中学校の全学級に配布し、児童生徒が日頃から手に取ることができるようにするとともに、道徳の学習等でも活用しました。また、市内の公共施設で閲覧に供して、広く市民への啓発も行いました。</p> <p>市内小中学校の各学級に人権文集を配布したことで、日常的に児童生徒が人権感覚を高めることができるようにしました。</p>				



基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます

<b>主要施策</b>	<b>(5) 公民館事業の充実</b>	所管課	社会教育課
-------------	---------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>市民のニーズを把握し、地域の中の学習拠点施設として、地域の様々な課題や健康・生活文化などの学習機会を提供します。</p> <p>市民が気軽に集える地域の居場所としての公民館を目指し、市民と協働で取り組みながら、人とのふれあいや学びを通してまちづくりに参加する人材を育成します。</p> <p>サークル活動等の市民の自主的な活動を支援するとともに、社会教育関係団体や関係機関とのネットワークづくりを推進し、学校・家庭・地域が連携した地域の教育力の向上を図ります。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>公民館は、生活のなかで気軽に人々が集うことができる場であること、また、自らの興味関心に基づいて、さらに、社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶ場であることをとおして人づくり・地域づくりに貢献しています。</p> <p>世代間交流ができる公民館の特性を生かし、若者が地域に積極的に参加できる活動や講座などのきっかけづくりに取り組みます。</p> <p>主催事業や地域住民のサークル活動を通じて、地域における社会教育の継続・発展の役割を担っています。</p> <p>○市民ニーズを把握した主催事業の実施や学習情報を提供することで、地域住民の学習意欲を高め、学習の成果が地域での実践に結びつけられることを目指します。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	公民館主催事業	所管課	社会教育課	決算額	3,696 千円
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で従来どおりの公民館事業を開催できない状況でしたが、地区文化祭を開催した館が5館に増えました（令和2年度は2館）。サークルの発表の場が思うように設けられないという市民からの声を受け、サークル体験会を行う館もありました。感染症対策を講じながら、市民の主体的な学習や文化・スポーツ活動を支援しました。</p> <p>【主催事業数】全館合計 211 事業（令和2年度 118 事業）</p>				
評価	<p>主催事業参加者同志が集まってサークルを新たに立ち上げたり、サークル体験会に参加した市民がサークルに加入したりと、徐々に活動が再開しつつあります。主催事業数も前年度より増加し、市民の学習意欲向上を促し、交流機会を提供することができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	2 誰もが、いつまでも <sup>からだ</sup> 身体を動かしたくなるマチをめざします

<b>主要施策</b>	<b>(1) 市民の健康・体力づくりの推進</b>	所管課	スポーツ振興課
-------------	---------------------------	-----	---------

<b>施策の目標</b>	<p>スポーツ大会・教室等について、生涯を通してスポーツ（軽運動、レクリエーション等含む）に親しむきっかけづくりとなるよう、市民ニーズを踏まえ、企画内容の充実に努め、子どもから高齢者まで障害のある人もない人も、ライフステージ等に応じたスポーツの楽しさを普及します。</p> <p>誰でも、どこでも手軽に行うことができる市独自の健康体操「とこしゃん体操」の普及に努めるなど、スポーツを通じた健康づくりを推進します。</p>
--------------	--

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>第2次所沢市スポーツ推進計画の基本理念である「市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、<sup>からだ</sup>身体を動かしたくなるマチ」を目指すため、スポーツ情報の発信に努め、あらゆる世代が参加できる教室や大会を充実させます。</p> <p>「とこしゃん体操」の効果的な普及の方法を検討し、より多くの市民の健康づくりを推進します。</p>
--------------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>所沢シティマラソン大会開催事業</b>	所管課	スポーツ振興課	決算額	2,542千円
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた安心安全な大会を目指し、種目や参加人数を減らし、スタート方法を時間差で行うウェーブスタートとすることなどで密を避け、給水方法を紙コップでの提供から、マイボトルに変更しウイルスの感染を防ぐなど、あらゆる感染予防策を講じて準備を進めていました。</p> <p>しかしながら、エントリー開始直前の感染状況は悪化しており、感染収束の目途が立たない状況であることから、参加者やボランティアの安全を最優先とし、開催中止としました。</p>				
<b>評価</b>	2大会続けて開催中止となりましたが、コロナ禍での大会開催方法について検討することができました。				

<b>事業名</b>	<b>スポーツ教室開催事業</b>	所管課	スポーツ振興課	決算額	129千円
	<p>さわやか健康体操教室、手軽に健やか体操教室・・・、男性いつまでも元気体操教室・・・、健康体操指導者養成講座、健康体操指導者スキルアップ講座、健康体操指導者研修会を実施しました。コロナ禍の影響で、初心者小学生新体操教室は中止いたしました。</p> <p>【参加者数】延べ 3,506人</p>				
<b>評価</b>	コロナ禍の影響で、例年どおりの活動はできませんでしたが、感染防止対策を徹底した上で、事業を実施したことで、市民の体力づくりに寄与できました。				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	2 誰もが、いつまでも <sup>からだ</sup> 身体を動かしたくなるまちをめざします

<b>主要施策</b>	<b>(2) 競技会場の確保や交流機会の充実</b>	所管課	スポーツ振興課
-------------	----------------------------	-----	---------

#### 施策の目標

身近なスポーツ施設で、プロや実業団等の迫力あるプレーを観戦できる機会を増やし、市民のスポーツへの関心・意欲を高めます。

所沢市民体育館がゴールボール<sup>\*1</sup>のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設<sup>\*2</sup>に指定されたことから、国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう環境整備を行います。

東京オリンピック・パラリンピック総合推進室や埼玉県オリンピック・パラリンピック課と連携し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて機運醸成を図るとともに、応援イベントや選手との交流、文化的なふれあいなどをきっかけにスポーツへの関心・興味を高めます。小中学生がオリンピック・パラリンピックの感動を享受できるように、学校における教育活動の一環として「見るスポーツ」を奨励します。

<sup>\*1</sup> ゴールボール…視力に障害がある方を対象に考案された球技。アイシェード(目隠し)を着用した1チーム3名のプレーヤー同士が、コート内で鈴入りボールを転がすように投球し合って味方のゴールを防御しながら相手ゴールにボールを入れることにより得点し、一定時間内の得点の多少により勝敗を決するもの。

<sup>\*2</sup> ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設…ナショナルトレーニングセンター(東京都北区)では対応できない、冬季、海洋・水辺系、屋外系の競技及び高地トレーニングについて、トップアスリートの強化活動の場所の確保を目的とし、指定されたトレーニング施設。

#### 施策の内容と今後の方向

所沢市民体育館が、ゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設として指定を受けていることから、引き続き選手の練習環境を整えるとともに、日本ゴールボール選手権大会等の環境整備を行います。

○応援イベント、オリンピック・パラリンピック関連教材の周知活用を行い、機運醸成を図ることができました。東京2020オリンピック・パラリンピック学校連携観戦については、感染状況が厳しい状況であることや児童生徒の安全対策が確保できないことから事業を取りやめました。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業	所管課	スポーツ振興課	決算額	1,572千円
	<p>平成29年に所沢市民体育館がスポーツ庁から東京パラリンピック競技種目であるゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設として指定されたことに伴い、スポーツ庁から業務委託を受け、トップアスリートが国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の環境整備を引き続き行いました。</p> <p>令和3年度の練習予定日数は90日でしたが、コロナ禍の影響で、感染予防対策を徹底した上での利用となり、使用日数は62日となりました。</p>				
評価	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上での会場利用及びトレーニングの機会を提供することができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	2 誰もが、いつまでも <sup>からだ</sup> 身体を動かしたくなるまちをめざします

<b>主要施策</b>	<b>(3) スポーツに触れる機会の充実</b>	所管課	スポーツ振興課
-------------	--------------------------	-----	---------

<b>施策の目標</b>	<p>スポーツで優秀な成績を収めた個人や団体、長年にわたりスポーツの発展に寄与した方々に対する顕彰を通じ、スポーツへの意欲の高揚を図ります。</p> <p>広報紙や市ホームページ等の多様な広報媒体を活用して、スポーツに関する情報提供を行うとともに、わかりやすい情報の発信に努めます。</p> <p>スポーツによる地域の活性化のため、総合型地域スポーツクラブの支援を行うなど、地域コミュニティや社会参加のきっかけづくりとなるよう地域に根ざした事業に取り組みます。</p>
--------------	--

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>スポーツ活動におけるモチベーション向上の一助として、顕彰制度を運用し、アマチュアスポーツの競技大会において優秀な成績を収めた選手や、長年にわたりスポーツの発展に寄与した方々に対して、その栄誉を顕彰します。</p> <p>スポーツイベントや教室、大会等、市民一人一人の多様なニーズに応じた情報が得られるよう、多様な広報媒体を活用した情報提供などにより、スポーツに親しむきっかけづくりに努めます。</p>
--------------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>スポーツ大賞表彰式開催事業</b>	所管課	スポーツ振興課	決算額	132千円
	<p>コロナ禍のため令和3年度所沢市スポーツ大賞表彰式を縮小開催し、スポーツ大会等において優秀な成績を収めた者や、スポーツの発展に寄与した者に対し、その栄誉をたたえ顕彰しました。</p> <p>(優秀選手賞1人、奨励賞(個人)1人、奨励賞(団体)1団体、特別賞9人)</p>				
<b>評価</b>	<p>コロナ禍の影響で各種大会等が中止となる中で、各受賞者を、スポーツに携わる方々の模範として顕彰することができました。</p>				

<b>事業名</b>	<b>総合型地域スポーツクラブ支援事業</b>	所管課	スポーツ振興課	決算額	0千円
	<p>地域において、子どもから高齢者まで「いつでもどこでも」様々なスポーツを愛する人々が集い、自主的に運営される多世代・多種目型の総合的なスポーツクラブを支援します。</p>				
<b>評価</b>	<p>WASEDA club 2000の運営委員会(年4回)に参加し情報を共有しました。</p> <p>「WASEDA club 2000」とは、早稲田大学所沢キャンパスを活動拠点として会員に運動やスポーツを楽しむ場を提供し、所沢市におけるスポーツの振興と地域社会における健康で明るく豊かな生活の実現に貢献することを目的とした所沢市総合型地域スポーツクラブです。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします

<b>主要施策</b>	<b>(1) 図書館サービスの向上</b>	所管課	所沢図書館
-------------	-----------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>図書館が持つ情報資源の利用促進を図るとともに、図書館の情報提供能力の向上をめざします。</p> <p>レファレンスサービス等の充実により、市民への課題解決支援サービスの充実を図ります。</p> <p>インターネット予約、コンビニエンスストアなどでの図書等取次、他市の図書館との相互利用等について、更なる利便性の向上をめざします。</p> <p>対面朗読や大活字本等の資料整備など、障害のある方への図書館利用サービスの充実に努めます。</p> <p>関係機関及び関係団体との連携・協力を図り、市民の課題解決に役立つ情報の提供を行います。</p> <p>図書館電算システムの安定的な運用と、図書館ホームページのアクセシビリティ*の向上に努め、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>本館による一元化した管理のもとで、全館良質なサービスの提供に努め、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>* アクセシビリティ・・・製品やサービスに対するアクセスのしやすさを表し、それらの機能などを使用できることを保証すること。</p>
--------------	--

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>コンビニエンスストア図書等取次事業において取次店舗拡大を図るため、コンビニエンスストア本社及び店舗との交渉を進めます。また、更なるサービス拡大に向け、取次業務が可能な施設等の調査・交渉を進めます。</p> <p>対面朗読や郵送貸出サービスの利用拡大を図り、誰もが本に親しめる環境づくりに努めます。</p> <p>図書館電算システムの安定的な運用に努め、利便性の向上を図ります。</p>
--------------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>所沢図書館分館施設管理運営事業</b>	所管課	所沢図書館	決算額	290,960千円
<b>評価</b>	<p>運営及び施設管理状況等については、館長会議及び担当者間の連絡会議の開催や、本館職員による指定管理会社本社、各分館への定期的なモニタリングなどを実施し、安定した運営が継続できるよう点検等を行っています。</p> <p>令和3年度は指定管理者運営による第2期が終了するため、来期の運営団体の選定を行いました。今まで積み上げてきた実績をもとに、市民サービスの向上を図るため、自主事業の実施や、所沢分館・新所沢分館での平日夜間開館に加え、令和4年度から新たに狭山ヶ丘分館でも夜間開館を実施し、引き続き全ての分館での祝休日開館などを行います。</p>				
<b>評価</b>	<p>定期的なモニタリングや点検等により、安定した市民サービスを提供することができました。来期の運営は、これまでの実績が高く評価された結果もあり、同指定管理者に決定しました。</p>				

<b>事業名</b>	<b>コンビニエンスストア図書等取次事業</b>	所管課	所沢図書館	決算額	9,586千円
<b>評価</b>	<p>図書館の開館時間内での利用や来館が困難な市民に向け、コンビニエンスストア図書等取次事業を継続して実施しました。柳瀬分館が施設改修工事のため長期休館したことにより東所沢地区の店舗での取り次ぎが急増しましたが、円滑な配送ができるよう全館で統一したマニュアルに基づき業務を実施しました。</p> <p>【年間貸出点数】令和元年度 45,366点、令和2年度 39,877点、令和3年度 46,510点</p> <p>【取次店舗所在地】(令和3年度、7店舗)</p> <p>くすのき台2丁目、西所沢1丁目、松葉町(2店舗)、牛沼、本郷、糀谷</p>				
<b>評価</b>	<p>市内コンビニエンスストア7店舗でのサービスを維持しています。引き続き市民から要望の多い地区を中心に店舗数の増加を目指して、事業者への働きかけを行っています。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします

<b>主要施策</b>	<b>(2) 生涯にわたる読書活動の推進</b>	所管課	所沢図書館
-------------	--------------------------	-----	-------

#### 施策の目標

様々な理由で図書館利用が困難な方にも、本に親しめる機会と環境づくりに努めます。  
 図書館 HP や広報紙を活用して、図書館利用の促進を図ります。  
 講演会、講座等の集会行事を開催し、読書活動の推進に向けた啓発に努めます。  
 市民との協働による事業の開催等により、読書活動の推進に努めます。

#### 施策の内容と今後の方向

図書館 HP を活用した広報や情報提供など、Web サービスを拡充し、利便性の向上を図ります。  
 非来館型サービスの一つとして、高齢者施設・地域の団体等への出張おはなし会の実施の拡充をめざします。  
 講演会、講座等の集会事業を実施するとともに、関連図書の展示を行い、市民の読書活動の推進をめざします。  
 市民による実行委員会の企画運営で図書館まつりを実施します。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	図書館利用推進事業	所管課	所沢図書館	決算額	12,532 千円
	<p>図書館利用の促進を図るため、図書館 HP を活用した広報に努めました。            感染症拡大防止のため、高齢者施設・地域の団体等への出張おはなし会は実施しませんでした。高齢者ケアに役立つ本や大きな活字の本のリストを作成し、来館者や高齢者施設等に配布しました。</p>				
評価	<p>感染症予防対策を徹底し、密な空間を作らないよう展示を中心とした内容で図書館まつりを開催し、好評を得ました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします

<b>主要施策</b>	<b>(3) 資料収集と蔵書構成の充実</b>	所管課	所沢図書館
-------------	-------------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、機能を十分に発揮できる種類と量の資料の収集・整備を継続して進めます。一般・児童・青少年図書、新聞・雑誌、専門書、ビジネスや健康医療図書、視聴覚資料、データベースなど、あらゆる分野の充実に努めます。</p> <p>所沢を中心とした地域のあらゆる分野にわたる郷土資料の遡及・網羅的な収集に努め、市民への資料提供を行います。</p>
--------------	--

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>市民の課題解決に役立つ質の高い資料・情報源を収集するため、幅広い分野にわたって資料の選定を行います。また、関係機関と連携した展示、郷土・行政資料、ビジネス支援・健康医療に関するコーナーの資料充実等を行い、市民への情報提供に努めます。</p> <p>適切な管理のもと、新鮮で調和のとれた蔵書構成を維持し、利用状況、利用実態等を踏まえ、変化に対応した蔵書構成を構築していきます。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>図書資料収集・整理・保存事業</b>	所管課	所沢図書館	決算額	54,568 千円
<b>評価</b>	<p>郷土資料及び行政資料等については、関連機関と市役所各課に資料保存の必要性を周知し、貴重資料の提供を働きかけて収集と保存に努めました。</p> <p>図書資料については、市民の多様なニーズに応えられるよう、資料選定モニターの意見も活用しつつ、検討会議を開催し、図書資料の購入、その他寄贈資料などを受け入れ、収集及び整理に努めました。</p> <p>【郷土資料年間所蔵数】</p> <p>令和元年度 27,590 点、令和2年度 28,695 点、令和3年度 29,580 点</p> <p>郷土資料及び行政資料等については、資料保存の必要性について周知し、各種資料を収集することができました。図書資料の収集に努め、市民の多様なニーズに応えることができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします

<b>主要施策</b>	<b>(4) 子どもの読書活動の推進</b>	所管課	所沢図書館
-------------	------------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>生涯にわたり読書に親しむには、子どもの頃の読書習慣や読書環境が重要です。すべての子どもが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、「所沢市子どもの読書活動推進計画」を推進します。</p> <p>読書のきっかけとなる様々な場や機会を提供し、読書を行う習慣を身につけることができるよう、読書環境の整備・充実を図ります。</p> <p>家庭、地域、学校や図書館等が相互に連携・協力し、子どもの自主的な読書活動を支援・推進するための体制を整備します。</p> <p>子どもの読書活動に対する理解を深め推進するため、子どもだけではなく保護者をはじめとする周りの大人に対しても、関心を高めるための普及・啓発活動を展開します。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>「おはなし会」等の子ども向け事業、学校との連携事業等、地域に密着した事業の拡大を図っていきます。平成 24 年度から、分館を指定管理者による運営に移行しましたが、本館・分館全 8 館において、引き続き均質で質の高いサービスを提供できるよう、本館が中心となって調整を図っていきます。</p> <p>平成 31 年 3 月に策定した「第 3 次所沢市子どもの読書活動推進計画」に従い、関係機関と連携しながら子どもの読書活動を推進していきます。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>子どもの読書活動推進事業</b>	所管課	所沢図書館	決算額	2,772 千円
<b>評価</b>	<p>「おはなし会」や乳幼児向けの「親子おはなし会」等の行事を感染症対策を行いながら全館で開催しました。令和 3 年度の子ども向け行事の大人・子どもの合計参加者数は 6,762 人で、本館・分館全 8 館の均質なサービスを維持しています。</p> <p>小学校 3 年生へのブックトーク、学校への団体貸出、特別支援学級へのおはなし会訪問など、可能な範囲で学校との連携事業を推進しました。</p> <p>関係機関との連携を図り、こども支援センターで出張おはなし会を 5 回行いました。</p> <p>小 2・小 5・中 2 の児童生徒に対し行っている子どもの読書アンケートで、1 人 1 か月あたりの平均読書冊数が、小 2 で 7.8 冊から 8.4 冊へ、中 2 で 3.2 冊から 3.3 冊へ増加しました。これは、前年度に比べ図書館と学校との連携事業が増えたことによるものと思われます。しかし、小 5 では 5.3 冊から 5.3 冊で増減がなかったことから、さらに読書活動を推進していく必要があります。</p>				



基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	4 歴史・伝統文化を大切にしふるさと所沢の魅力を高めます
主要施策	(1) 文化財の保存・活用・調査
	所管課 文化財保護課 生涯学習推進センター

#### 施策の目標

文化財を次世代に継承するため、これらを記録・保存し、適切な保存管理に取り組みます。また、県指定史跡「滝の城跡」の遺構の保存と史跡整備の実施に向けた検討を進めます。

文化財をより身近な存在に感じてもらい、大切に守り伝える心を育むため、文化財展等の公開活用事業をはじめ、様々な活用策を実施して文化財の価値や魅力を周知します。また、観光や文化芸術など、関連性が高まる分野との連携について検討します。

指定文化財等の現状調査を継続し、文化財の価値を維持するとともに、学術的な研究を行い、その結果の情報発信を行います。

国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」保護のための事業を継続して実施します。

#### 施策の内容と今後の方向

「小茂田青樹写生画」と「山口城跡出土木製塔婆」の2件が文化財保護委員会から指定の答申がありました。

○令和3年度の新規事業のうち、「鈴木家住宅調査事業」が終了しました。「歴史的建造物整備活用事業」については、令和4年度も整備活用基本方針の策定に向けて継続していきます。

土地区画整理事業地内の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）で埋蔵文化財の有無を確認する確認調査と記録保存のための発掘調査を今後も継続する必要があります。また、県指定史跡「滝の城跡」の第9次発掘調査の現地説明会や第1～9次調査成果報告会を開催し、さらに調査を進めるなど、史跡整備の実施に向けた検討を進めます。

埋蔵文化財調査センターでは、コロナ禍において新たな生活様式に対応した取組として、小中学生を対象にした体験講座「埋文教室」を開催し、2日間で92人の児童生徒が施設を訪れ文化財に触れました。

国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」を1,459匹人工増殖したことで、個体数の維持を図っています。今後は個体数の維持だけでなく、「生物多様性所沢戦略」のモデルプロジェクトの実践をめざします。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	歴史的建造物整備活用事業[新規]	所管課	文化財保護課	決算額	675千円
	<p>本事業は、寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」及びその周辺の整備と活用を図るものです。歴史文化の情報発信や様々な活動の展開を通じて、「ふるさと所沢」への愛着や理解を深めるとともに、中心市街地の活性化や所沢駅周辺の回遊性向上にも寄与することを目的とします。</p> <p>令和3年度は整備活用基本方針策定委員会(知識経験者等外部委員で構成)及び庁内検討調整会議を立ち上げ、基本方針を策定するための会議を実施しました。</p>				
評価	<p>整備活用基本方針策定委員会については、公募市民選出にあたり「ふるさと所沢」の未来を担う若い世代の声を反映させるため、年齢要件を設けて公募を行ったことで、20代から70代まで各世代の委員が集い、バランスの取れた体制が実現できました。今後は、基本方針策定に向けた意見の集約に加え、整備や修理に伴う関係法令との適合性も課題となります。</p>				

事業名	土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査事業[新規]	所管課	文化財保護課	決算額	14,177千円
<p>【発掘調査】：阿間巖下遺跡第3次調査(1,239㎡)：令和3年7月7日～9月15日 縄文時代の竪穴住居跡1軒と土坑32基 縄文土器片・石器など</p> <p>【確認調査】：旧暫定逆線引き地区である土地区画整理事業地内存在する5地区 北秋津・上安松土地区画整理地区6,219.16㎡、下安松東地区7,511㎡、三ヶ島工業団地周辺地区4,625㎡、 若松町地区5,750㎡は、遺構・遺物は検出されませんでした。</p> <p>上安松下安松西地区4,291㎡では、竪穴住居跡(縄文時代)18軒と土坑4基、時期不明遺構2基、 縄文土器片1点を検出しました。</p>					
評価	土地区画整理事業スケジュールに配慮しながら、決められた期間内で必要な確認調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認することで、開発に伴う遺跡の破壊がないよう努めました。				

事業名	鈴木家住宅調査事業[新規]	所管課	文化財保護課	決算額	5,711千円
<p>本事業は、市内西新井町に所在する鈴木家の建物及び所蔵資料について、その記録を残すとともに、郷土資料としての価値を明らかにすることを目的に行いました。</p> <p>建物調査：実測調査・写真撮影・聞き取り調査 株式会社文化財保存計画協会 資料調査：書画・色紙・短冊等の写真撮影、聞き取り調査 さいたま民俗文化研究所</p>					
評価	建物調査では、かつて行われていた養蚕の痕跡に加え社会状況の変化に伴う改築を確認しました。また、資料調査では、所沢飛行場関連や当時の文化人との交流にまつわる資料など、既に調査した古文書(5,000点以上)や民具類(400点以上)と合わせ、所沢の歴史や文化史を知る上で欠くことのできない資料群であることが確認されました。				

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所管課	文化財保護課	決算額	25,864千円
<p>【確認調査】85件 【発掘調査】4件</p> <p>海谷遺跡25次：竪穴住居跡1軒(縄文時代)と土坑1基(時期不詳) 縄文土器片、石器 東内手遺跡9次：竪穴住居跡1軒(古墳時代)と竪穴建物跡1棟(奈良時代)、井戸跡(近世以降)、土師器・須恵器片・石器 東の上遺跡102次：道路跡1条(旧鎌倉街道跡) 土師器片・須恵器片・陶器片 東の上遺跡103次：竪穴建物跡1棟(飛鳥時代：西暦7世紀後半)、土師器片・須恵器片・鉄製品・石製品</p>					
評価	開発業者等と事前に十分に調整し、確認調査や発掘調査を実施することで、開発行為に伴い破壊されてしまう住居跡など遺構の記録を図面や写真で残し、後世に伝えることができました。				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	4 歴史・伝統文化を大切にしふるさと所沢の魅力を高めます

<b>主要施策</b>	<b>(2) 伝統芸能の維持発展</b>	所管課	文化財保護課 生涯学習推進センター
-------------	----------------------	-----	----------------------

<b>施策の目標</b>	郷土芸能や伝統文化を次世代に継承するため、それらの保存団体を育成・支援するとともに、伝統芸能発表会等により市民への普及に努めます。
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	○新型コロナウイルス感染症の対策を徹底した上で、第14回「所沢市伝統芸能発表会」を開催しました。 市内で受け継がれている郷土芸能の維持発展のため、保存団体と連携して伝統芸能の発表の場を確保し、市民に広くPRします。
--------------------	--

### 主な事業の実施状況・評価

事業名	郷土の民俗芸能支援事業	所管課	文化財保護課	決算額	408千円
-----	-------------	-----	--------	-----	-------

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から延期になっていた第14回「所沢市伝統芸能発表会」について、感染対策を講じて開催しました。例年は、「市民に対して伝統芸能への理解を深めること」を目的として開催していましたが、新型コロナウイルスの影響により、観客を入れた開催ができないことも想定されたため、開催目的を「活動自粛が続いている民俗芸能継承団体の活動再開への機運を高めるきっかけづくり」とし、どんな形でも開催する姿勢で計画をしました。観覧者は事前申込制、時間短縮、座席の感覚をあけるなど、例年より自由度の少ないものでしたが、来場者アンケートでは高い評価を得ることが出来ました。また、当日の様子はYouTubeの市公式チャンネルに掲載し、来場することができなかつた方も見るようにしました。


開催日：令和4年2月20日 会場：所沢ミューズ中ホール 出演者・観覧者：計172人



評価	開催日はまん延防止重点措置期間内でしたが、共催の岩崎獅子舞保存会・重松流祭囃子保存会と協力し、感染対策を講じた上で観客を入れ開催することができました。出演団体からは、「開催してよかった」「発表会への出演が決まったことで活動を再開できた」という評価があり目標を達成できました。また、アンケート結果も9割以上が「とても良かった」「良かった」との評価でした。
----	--

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます		
基本目標	4 歴史・伝統文化を大切にし ふるさと所沢の魅力を高めます		
主要施策	(3) 地域の文化財の掘り起こし	所管課	文化財保護課 生涯学習推進センター
施策の目標	指定文化財以外の資(史)料について調査を進め、新たな文化財の掘り起こしを行います。また、既存の文化財についても調査を深め、新たな価値の発見に努めます。		
施策の内容と今後の方向	指定文化財以外の資(史)料について、令和3年度は絵画について調査を行いました。今後も市内に残された文化財の調査に努めつつ、既存の文化財についても公開等で活用ができないか、検討を進めていきます。		

### 主な事業の実施状況・評価

事業名	文化財公開活用事業	所管課	文化財保護課	決算額	1686千円
	<p>令和時代に入って新たに指定した文化財と関連資料について、広く市民に公開するため、「令和の新指定文化財展」を開催しました。</p> <p>会期：令和3年7月1日～8月1日 会場：生涯学習推進センター3階企画展示室 来場者：延べ309名</p> <p>主な展示資料：令和2年度指定「齊藤家文書及び関連資料」「旧和田家住宅の衣生活資料」 令和3年度指定「天正十九年中根伝七郎宛徳川家康朱印状」 「木造阿弥陀如来及び両脇侍像」(パネル展示)</p> <p>新型コロナウイルスの影響で中止となった埼玉県立歴史と民俗の博物館特別展「武蔵国の旗本」に貸出を予定していた資料なども展示しました。</p>				
					
	「令和の新指定文化財展」				
評価	<p>市民の皆さんに身近な施設で「ふるさと所沢」の歴史や文化に親しむ展示を開催することで、県域を越えた移動制限などがある今だからこそ、身近な歴史に目を向けるきっかけづくりができました。アンケートでも評価が高く、「とても勉強になった」「このような所で家康の朱印状を見れるとは思わなかった」「大変な状況の中、企画展を開いてくれてありがとう」といった感想をいただきました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます				
基本目標	4 歴史・伝統文化を大切にし ふるさと所沢の魅力を高めます				
主要施策	(4) ふるさと研究の推進			所管課	文化財保護課
施策の目標	<p>市民との協働により、ふるさと所沢の歴史、自然、文化等に関する資(史)料や情報を収集・保存し、調査・研究を進めます。また、その成果を、学校等とも連携しながら、展示や講座、体験学習会等を通して子どもから大人まで広く市民に伝え、郷土への愛着・理解を深めます。</p>				
施策の内容と今後の方向	<p>市民や関係機関等と協力して、ふるさと研究活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の財産であるふるさと研究資料の収集・調査・整理を進めるとともに、市民や研究者等への利用に供するなど、その活用にも努めます。</li> <li>展示、講座、体験学習会等の開催を通じて、資料保存の必要性を広く市民に周知します。</li> </ul>				
主な事業の実施状況・評価					
事業名	ふるさと研究活動事業	所管課	文化財保護課	決算額	9,526 千円
評価	<p>ふるさと所沢への愛着・理解を深めるため、次の事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示、企画展示(冬季企画展「ところざわ繁盛記～町場のくらし展」) 来場者 延べ 1,216 人</li> <li>ふるさと研究講座探究編「ふるさとの音を訪ねて」(全 4 回シリーズ) 参加者: 延べ 139 人</li> <li>星空観望会「双眼鏡で月食を観察しよう!」 参加者: 30 組 60 人</li> <li>体験学習会「狭山丘陵探検隊～冬ごしする虫たちをさがしてみよう」 参加者: 7 組 16 人</li> <li>市民学芸員による民具・古文書調査、展示や体験学習への協力 参加者 延べ 374 人</li> <li>小中学校初任者研修に講師として職員を派遣しました。 実施日: 令和 3 年 7 月 30 日 対象: 小中学校初任者研修対象教員 60 人</li> <li>市内小学校へ職員を派遣して出張授業を実施しました。 実施日: 令和 3 年 11 月 25 日 対象: 美原小学校 3 年生 94 人</li> </ul> <p>事業内容に応じた感染症対策を講じて展示・講座・体験学習会等を開催しました。コロナ禍で人数は限られましたが、事業を通じて「ふるさと所沢」への愛着・理解を深めることができました。</p>				
事業名	三ヶ島菘子資料室運営事業	所管課	文化財保護課	決算額	100 千円
評価	<p>郷土の歌人・三ヶ島菘子を周知するため、次の事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三ヶ島菘子資料室の運営 来場者 延べ 455 人</li> <li>資料室ボランティアによる展示解説(月 1 回)</li> <li>三ヶ島菘子資料室講演会「三ヶ島菘子の祈り」 開催日: 令和 4 年 1 月 28 日 参加者: 42 人</li> <li>資料室だより「われもこう」の発行、ほっとメールでの菘子作品の配信(毎月)など</li> </ul> <p>事業内容に応じた感染症対策を講じて各事業を開催しました。講演会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延期したことなどもあり参加人数は限られましたが、資料室来場者アンケートでは「三ヶ島菘子のことは良く知らなかったが、今日ここに来て良かった」「勉強になった」等の感想をいただいております、各事業を通じて、三ヶ島菘子の作品や生涯を周知することができました。</p>				

基本方針	2 学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
基本目標	4 歴史・伝統文化を大切にし ふるさと所沢の魅力を高めます

<b>主要施策</b>	<b>(5) 郷土に関する資料の収集・保存・活用</b>	所管課	文化財保護課
-------------	------------------------------	-----	--------

<b>施策の目標</b>	<p>市民から提供される郷土に関する資料の受け入れを行うとともに、収集した資料を有効に活用できるよう、整理・調査を行います。</p> <p>郷土資(史)料の散逸・劣化を防ぎ、後世に伝えるための保存施設について、既存施設を見直し、収蔵・展示できる施設の整備に向けた検討を行います。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>収集した資料の整理・調査、代替化を進め、市民や研究者等の利用に供します。</p> <p>郷土資料を後世に残していくための保存施設整備について検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示や講座事業等を通じて、郷土資料保存の必要性を周知していきます。</li> <li>・令和元年度から、「所沢市郷土資料等収蔵施設整備に係る庁内検討調整会議」において、収蔵施設整備に向けた検討を行っています。</li> </ul>
--------------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	資(史)料の収集・整理・保存・活用事業	所管課	文化財保護課	決算額	3,645 千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧学習室の運営により、所蔵資料を閲覧・複写等の利用に供しました。</li> <li>・ふるさと所沢に関する資料の収集・整理・保存を進め、展示等の事業を通じて広く公開しました。</li> <li>・市民等からの申出を受け、郷土に関する資料の調査、受け入れを行いました。</li> <li>・古文書のマイクロフィルム撮影、既存マイクロフィルムのデジタルデータ化など、資料の代替化を進めました。</li> <li>・保存年限が切れた歴史的公文書の収集を行いました。</li> </ul>				
<b>評価</b>	<p>収集・整理・保存した資料を、展示や閲覧学習室で市民の学習活動に活用することで、「ふるさと所沢」への理解を深めることに役立てました。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます

<b>主要施策</b>	<b>(1) 家庭教育への支援</b>	所管課	社会教育課
-------------	---------------------	-----	-------

#### 施策の目標

すべての教育の出発点である家庭教育において、子どもが「生きる力」を身につける基盤づくりが必要です。保護者が、子どもを主体的に育てていくことができるよう、市長部局や関係機関と連携して親の学びや育ちを支援します。

地域のつながりが希薄化する中、地域での学びや交流の場を通じ、家庭が地域や学校との関わりを持つ機会を充実させ、社会全体で家庭教育を支援していくネットワークづくりを進め、子どもたちの豊かな成長を促します。

#### 施策の内容と今後の方向

保護者が子育てについて主体的に学ぶ機会を市内全小中学校に継続して提供し、家庭教育学級をより多くの保護者に周知し参加を促進していくためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。卒業生の保護者や家庭教育に関心のある地域の方々の家庭教育学級への参加を促進し、地域の保護者のコミュニティ形成に貢献し、社会全体で子どもたちを育てる環境情勢に努めます。

家庭教育学級や子育て講座に参加できない家庭にも支援が届けられるよう、ITの活用等の新しい事業手法も試みながら、事務の見直しに努めます。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	家庭教育推進事業	所管課	社会教育課	決算額	2,952千円
事業内容	<p>各小中学校区に組織される運営委員会に家庭教育に関する講座の開設を委託し、子育て等に関する学習の機会を提供しました。感染症対策に配慮した学習内容や方法で講座を実施し、ホームページによる情報提供や地域資源を活用した講座の提案など、各学級の活動支援に努めました。</p> <p>【家庭教育学級の参加者数等】小中学校 47 学級・学級生数 1,437 人・講座数 238 講座 (子育て講座・クロームブック学習体験講座・人権教育合同講座など)</p> <p>家庭教育啓発リーフレット(小学校編・中学校編)を作成し、対象の保護者に配布しました。</p> <p>小学校の就学時健診や入学説明会などの機会に、小学校入学を控えた保護者に対し、入学に向けての心構えなど、子育て講座を実施しました。</p> <p>【子育て講座の参加者数等】小学校 17 校・参加者数 1,105 人</p>				
評価	<p>コロナ禍の影響により中止になった講座もありましたが、家庭教育学級の開設等により学習の機会の提供を継続できました。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます

主要施策	(2) 放課後の居場所づくり	所管課	学校教育課、社会教育課
------	----------------	-----	-------------

施策の目標	<p>放課後の小学校を児童の安全・安心な遊び・学びの場として提供する放課後支援事業「ほうかごところ」では、それぞれの地域の特色を生かした取組を実施し、地域の力で子どもたちの豊かな体験と健やかな成長を支えます。</p> <p>放課後支援員や地域のボランティア等で、子どもたちが異年齢集団で元気に遊んだり学んだりする姿を見守り、地域の実情にあわせて、子どもたちの健全育成を支援します。</p>
-------	--

施策の内容と今後の方向	<p>一体運営事業における「中富ほうかご広場」(青少年課所管)と、既存の10校の「ほうかごところ」(学校教育課所管)とは、所管は異なりますが運営や利用方法に大きな違いはなく、同様の事業を行っています。両者合同のリーダー会議等での情報交換や、スタッフの研修会を行い、連携を深めていきます</p> <p>地域の子どもは地域で育てるという「地域立」の考え方をふまえ、安全・安心な居場所づくり、異年齢間の交流を通じた子どもたちの健全育成という趣旨や意義を一層具現化していきます。</p> <p>「放課後支援事業」を行っている既存の10校の充実を図ります。</p> <p>毎年、危機管理及び児童理解についてスタッフ研修会を2回実施していますが、今後も研修を充実させ、更なる児童の健全な育成を図ります。</p> <p>より多くの子どもが楽しくかかわり合う中で、自主性や社会性を高められるよう、それぞれの地域の特色を生かした活動の充実を一層図っていきます。</p>
-------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	放課後支援事業	所管課	学校教育課	決算額	45,231千円
評価	<p>事業推進のため、以下の会議・研修会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」リーダー会議(4月20日)</li> <li>・「ほうかごところ」リーダー及びスタッフ研修(資料提供)</li> <li>・「ほうかごところ」連絡協議会(11月25日)</li> <li>・各「ほうかごところ」における運営委員会の開催(実施校ごとに)</li> <li>・令和3年度事業報告書を作成し、関係所属・各ほうかごところ・運営委員会等に配布</li> </ul> <p>【年間利用児童数】 延べ55,190人      【開設した日数】 10校平均で177日</p> <p>【令和3年度の登録率】 44.2%(令和3年度の目標値は60%)</p>				
評価	会議や研修会の開催により情報共有を図り、事業の円滑な実施に資することができました。				



基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます

主要施策	(3) 青少年教育の推進	所管課	社会教育課
------	--------------	-----	-------

施策の目標	<p>子どもは異年齢集団での交流や、自然体験、社会体験など様々な体験活動から多くのことを学び、「生きる力」を身につけます。このような体験活動を行う社会教育関係団体を支援し、子どもが多方面から成長できる環境づくりを進めます。</p> <p>子どもは、大人の姿を見て育ち、大人の責任ある行動が地域の教育力につながっています。多くの大人が活動に参加し、地域ぐるみで子どもたちの活動に取り組むことができるよう、青少年教育について学ぶ機会の拡充を図ります。</p>
-------	---

施策の内容と今後の方向	<p>「所沢こどもルネサンス」は、市民のボランティアスタッフが主体となり、子どもたちに様々な体験活動を提供しています。ボランティアスタッフの高齢化や協力者の不足等の課題もありますが、広報活動を充実させ、学校、地域、市役所内部や各種団体と連携しながら、事業を進めていきます。</p> <p>コロナ禍の影響で、例年と同様に事業を実施できない状況ではありますが、子ども達の体験活動の機会が失われないように、各種団体と協議をしながら、事業を進めていきます。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	子ども会育成事業	所管課	社会教育課	決算額	737千円
評価	<p>コロナ禍の影響により、各小学校区子ども会育成会の活動が縮小となり、21校区中17校区に交付金を交付しました。また、所沢市子ども会育成会連絡協議会へも補助金を交付しました。</p> <p>所沢市子ども会育成会連絡協議会の活動も縮小となり、例年実施している5年生インリーダー研修会(共催)、6年生インリーダー研修会(後援)、ジュニアリーダー養成講座(後援)等の事業が中止となりました。</p> <p>各小学校区子ども会育成会の様々な活動状況に応じて支援できました。所沢市子ども会育成会連絡協議会の活動も縮小しましたが、定期的に打ち合わせを行い、連携を深めました。</p>				

事業名	所沢こどもルネサンス開催支援事業	所管課	社会教育課	決算額	1,895千円
評価	<p>市民ボランティアで組織される「所沢こどもルネサンス実行委員会」に補助金を交付しました。</p> <p>コロナ禍の影響により中止となった事業もありましたが、「こども文学のひろば」「まんが・イラストコンクール」「あかさたな音楽祭」「クリエイティブドラマのワークショップ」「おはなしのひろば」「トコトコタウン」の開催を支援しました。</p> <p>例年多くの子どもたちでにぎわう「トコトコタウン」(子どもたちがつくるまち)は、実施方法及び内容を変更し、オンライン会議システムを利用した「災害と防災を知ろう!」「インターネットニュース記者になろう!」と、対面で「ロボット工房でかっこいいロボットを作ろう!」という3つの講座を実施しました。</p> <p>また、「あかさたな音楽祭」は今回で30回目を迎えましたが、コロナ禍のため、各団体の合唱や演奏をまとめた動画を作成し、オンラインで配信しました。 【事業参加者数】年間延べ5,022人</p> <p>実行委員会で検討を重ね、令和2年度よりも子どもたちが参加できる事業を実施できました。オンライン事業の参加人数が少なく、オンライン事業をどうするかが課題となっています。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます
<b>主要施策</b>	<b>(1) 教師力・組織力の向上</b>
	所管課 学校教育課、教育センター 教育総務課

#### 施策の目標

教職員の年齢や経験、職層に応じ、学校の課題解決に向けた実践力、指導力を身につける研修の実施や学校への支援を通して、教職員の資質・能力の向上に努め、所沢の教育を担う人材を広い視野から計画的に育成します。

学校指導訪問、学校管理訪問、生徒指導訪問、教育相談室訪問等を実施し、教育内容の一層の充実、いじめ・非行問題行動・不登校の未然防止を図ります。また、学校を法的側面から支援し、問題の早期解決を図ります。教職員の負担軽減、業務の適正化の観点から、校務や事務処理の効率化・簡素化や、職員間での連携、分担体制構築等を図り、教員が本来行うべき教育に関する業務に専念できる、持続可能な学校指導体制を整備します。

#### 施策の内容と今後の方向

令和3年度も、県教委との連携を図り、主幹教諭を10人配置し、各学校が校長の学校経営方針のもとに組織全体で教育活動に取り組める体制づくりを支援しました。

授業及び校務を担当できる「学力向上支援講師」を令和3年度も12人（小学校5人、中学校7人）配置し、学習支援員等の人的支援とあわせて、各学校がより一層組織的に教育活動に取り組めるよう支援を行いました。調査の結果、教員の負担が軽減され、個に応じたきめ細かい指導が行えるようになり、学力の向上に貢献できたとの報告がありました。

特別支援学級の新設や特別支援教育研修会（コーディネーター等対象）の実施等により、各学校が組織全体で個に応じた指導が行える体制づくりを支援しました。

栄養教諭を10人配置し、担任教員と連携を図りながら食に関する指導を積極的に進め、食育の推進を支援しました。

部活動については、「所沢市『設置する学校に係る部活動の方針』」に則り、適切な休養日等や活動時間を設定し、教員の働き方改革を推進していきます。また、令和3年度も部活動指導員を市内中学校4校に配置し、部活動の充実並びに教職員の負担軽減を図りました。

「学校法律相談事業」により、学校が教育問題に詳しい弁護士に直接相談し、早期の解決を図ることができる体制を構築しています。

教職員の年齢や経験、職層に応じた研修・研究について、趣旨の違いを改めて確認し、本来の目的が達成できるよう適切な支援を進めていきます。

○平成28年度に「所沢市立小中学校県費負担教職員の業務負担軽減検討委員会」を設置し、教職員の業務負担軽減につながる実効性のある取組を推進しています。併せて、埼玉県教育委員会が策定した「学校における働き方改革基本方針」を受け、本市では「所沢市立学校における働き方改革基本方針」を策定し、教職員の負担軽減や長時間勤務の解消に継続して取り組み、学校教育の質の維持向上を図ります。

調査の精選、文書の電子化、記入例の配布等により、引き続き教職員の負担軽減を推進していきます。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	中学校教科書改訂に伴う教科書等整備事業[新規]	所管課	教育総務課	決算額	42,579千円
教員用の教科書1,855冊、指導書2,027冊を整備しました。					
評価	予定どおり整備することができました。				

事業名	小学校教科書改訂に伴う教科書等整備事業	所管課	教育総務課	決算額	12,838千円
教員用の教科書860冊、指導書906冊を整備しました。					
評価	予定どおり整備することができました。				

事業名	資質向上事業	所管課	教育センター	決算額	80千円
<p>・教職員の経験年数や校務分掌に応じた研修を行い、教職員の資質向上を図りました。特に2年次教員研修やミドルリーダー研修員研修では、担当指導主事が受講者の所属校を訪問し個別に支援・指導を行いました。</p> <p>・県主催の初任者研修、ステップアップ研修、ジャンプアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修の円滑な受講を支援しました。(対象者276名)</p> <p>・教育センター研究員による、感染症対策を講じた上での所属校における実践、指導者による指導助言、研究成果をまとめる協議など、年間にわたる研究を通し、更なる資質向上を図りました。</p>					
評価	<p>県主催の年次・経験者研修支援においては受講者の不利益となることがないように、遺漏なく手続きや支援を行いました。また感染症対策を講じた上で、教職員の資質向上を図る研修・研究を行い、満足度「たいへんよかった・ややよかった」の合計は97%でした。</p>				

事業名	学校支援訪問事業	所管課	学校教育課	決算額	0千円
<p>管理・指導両面で学校を支援できるよう、次の訪問を行いました。</p> <p><b>【所沢市教育委員会・西部教育事務所 学校管理訪問】</b></p> <p>学校運営上の諸課題を把握し、必要事項について指導・助言を行い、学校管理・運営の適正化を図ることを目的とし47校1園に対し、所沢市教育委員会学校管理訪問を行いました。また、西部教育事務所に要請しての学校管理訪問を47校に対し行いました。</p> <p><b>【所沢市教育委員会・西部教育事務所 学校指導訪問】</b></p> <p>教育行政施策の浸透や教育課程の管理・学習指導等、学校教育の専門的事項について指導・助言し、学校教育の充実を図ることを目的に、9校に対し、学校指導訪問を行いました。(本来は23校1園を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年度へスライドしております。)</p> <p><b>【生徒指導訪問】</b></p> <p>年2回、市内全ての公立小中学校に生徒指導、特別支援教育、教育相談に関する学校訪問を実施し、生徒指導、特別支援教育、教育相談上の重点と課題を把握するとともに、指導・助言を行い、いじめ・不登校の未然防止に努めました。</p>					
評価	<p>各訪問を通して、学校に対して様々な面から支援することができました。</p>				

事業名	学校法律相談事業	所管課	学校教育課	決算額	1,320千円
<p>学校と、児童生徒やその保護者、近隣住民等との間で生じる様々な問題の解決にあたり、学校が教育問題に詳しい弁護士に直接相談し、法的側面からの助言を得ることで早期の解決を図りました。</p> <p>令和3年7月に、全小中学校の校長を対象とした学校法務研修会を開催し、学校で発生することが想定される問題の法的な解決のための具体的な対応事例を中心に研修しました。</p> <p>法律相談は、電話による相談を31件行いました。</p>					
評価	<p>学校が弁護士に直接相談することで、問題の解決の方向性を見出すことができました。また、法的側面からの助言を得ることにより、問題の早期解決を図ることができました。</p>				

事業名	部活動指導員配置事業	所管課	学校教育課	決算額	1,433千円
<p>運動部活動2人、文化部活動2人の総計4人の部活動指導員を市内中学校4校に配置し、顧問教員と連携して部活動の指導を行いました。</p>					
評価	<p>生徒が部活動指導員から専門的な指導を受けることにより、部活動の充実並びに顧問教員の負担軽減を図ることができました。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます

主要施策	(2) 特色ある学校づくりの推進	所管課	学校教育課
------	------------------	-----	-------

#### 施策の目標

各学校が、創意工夫を凝らした教育活動が展開できるように、特色ある学校づくりを支援します。教育課程の編成については、新学習指導要領に示された、各学校における地域の環境や人材を生かす「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、様々な授業実施の可能性について研究していきます。

#### 施策の内容と今後の方向

平成 13 年度より「特色ある学校・園づくり支援事業」を実施しており、各学校・園では、特色ある学校・園づくり宣言文を掲げ、事業委託料を有効活用して、地域の人材や環境を活かした創意工夫のある教育活動を実践するとともに、毎年報告書を作成・配布して各校の実践内容の周知を図っています。

各学校・園では、取組を学校評価で検証するとともに、成果を学校だよりや HP 等で発信しています。

各学校・園では、特色ある学校・園づくりを経営の中心的事項として推進し、地域の特色及び各学校・園の特色を生かし、創造的に生きる子どもたちの育成を図っていることから、学校評議員はもとより、保護者、地域からの評価も高いため、今後も本事業の推進と高い有効性の一層の周知を広く図っていく必要があります。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	特色ある学校づくり支援事業	所管課	学校教育課	決算額	11,890 千円
	<p>所沢第二幼稚園及び各小中学校が、創意工夫を凝らし、地域の特性を活かした、主に体験的な教育活動を実施しました。地域の特性を活かした活動として、「生活科や総合的な学習の時間等における地域の伝統芸能や地場産業の体験的な学習」「環境美化のための保護者、地域と連携した花壇への植栽」「地域の行事や清掃活動への参加」等が行われました。</p> <p>教育委員会では、各校・園に対し、前年度の実績と今年度の計画を元に事業委託料を配当したほか、年度途中と年度末に、進捗状況の把握及び成果報告と次年度の計画についてヒアリングを行い、事業委託料の有効活用や本事業の周知方法についての助言など、各校・園の取組を支援しました。</p>				
評価	<p>活動を通して子どもたちに豊かな心や、主体的に学び自ら問題を解決する資質・能力を養うことができました。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます

<b>主要施策</b>	<b>(3) 危機管理体制・学校安全の充実</b>	所管課	学校教育課
-------------	---------------------------	-----	-------

<b>施策の目標</b>	<p>学校内外での事件・事故を未然に防止するとともに、地域の防犯体制の強化、交通安全の推進を図るため、安全・安心な学校と地域づくり推進事業を推進します。</p> <p>「子どもの命に勝るものはなし」を全教職員の共通認識とし、危機管理マニュアルの点検や見直し、避難訓練等の実施、メール配信システムを活用した不審者情報等の適切・迅速な共有化等により、学校の危機管理体制を確立します。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>○本市独自の取組として、市費スクールカウンセラー4人を市内全中学校に配置し、健やか輝き支援室心理士の指導の下、各学校の教育相談体制を充実させるとともに、児童生徒が安心してSOSを発することができる学校指導体制を実現させます。</p> <p>児童生徒の安全・安心のため、小中学校の登下校指導、校内パトロール、管理職への危機管理面でのアドバイスなど、積極的に働きかけました。</p> <p>交通ルールを遵守し、特に自転車による交通事故防止については、加害者の視点も加えた指導に努めます。コロナ禍の状況を注視しつつ、地域行事への参加を促します。</p> <p>学校・家庭・地域が連携して、幼・保・小中学校で子どもを育てる取組を実施します。</p> <p>「いじめ撲滅」「交通事故防止」「地域行事への主体的参加」「地域ぐるみのあいさつ運動」を活動の重点に置き、地域をあげて取り組んでいきます。</p> <p>全支部の小中学校において、「あいさつ運動」を継続していきます。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	安全・安心な学校と地域づくり推進事業	所管課	学校教育課	決算額	12,782千円
令和3年度、「安全・安心な学校と地域づくり推進本部」(行政機関・警察・地域関係団体・中学校・高等学校等により組織する連絡協議会)の本部会議を2回行う予定でしたが、コロナ禍の影響により、1回目は書面開催、2回目は中止としました。令和4年度は感染症の状況をふまえながら、開催する予定です。近年、本市で発生している児童生徒の事件・事故の概要、中学校区ごとに組織する推進支部の活動、関係行政機関の活動について情報を共有し、下記の取組に生かしています。					
本事業の大きな4本の柱として、「いじめ撲滅」「交通事故防止」「地域行事への主体的参加」「地域ぐるみのあいさつ運動」を掲げています。例年、推進支部ごとに、登下校の見守り、校外パトロール、防犯講習会、あいさつ運動等の活動を行っています。					
【児童生徒の地域行事への参加人数】					
令和3年度 延べ2,102人 (令和2年度 1,092人)					
【推進員の活動状況】学校訪問・地域での支援					
令和3年度 延べ535回 (令和2年度 延べ679回)					
【支部会議の開催状況】					
令和3年度 5回 (令和2年度 1回)					
評価	コロナ禍の影響により、活動の一部に制約がありましたが、経験豊富な推進員が各学校を巡回するなど、きめ細かな支援ができました。				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます

主要施策	(4) 学校・家庭・地域の連携推進	所管課	学校教育課
------	-------------------	-----	-------

#### 施策の目標

学校評議員制度<sup>\*1</sup>を活用し、保護者や地域住民等の幅広い意見を学校運営に生かし、学校の活性化を図ります。また、学校評価<sup>\*2</sup>を適切に行い、その結果と改善の方針等について、地域・保護者等に、学校だよりや学校のHP等で速やかに公表し、地域と協力して学校運営を進めます。

幼児教育と学校教育の滑らかな接続に向けて、幼児教育振興協議会の協力を得て作成した「小1スタートカリキュラム」を活用し、園・学校・家庭が連携し、子どもの健やかな成長を支えます。

小中学校が一貫した新たな教育を推進するために、中学校区内で「目指す児童生徒像」や「重点目標」等を設定し、共有します。また、授業改善の視点を踏まえた9年間を見通したカリキュラム<sup>\*3</sup>を編成し、学習指導や生活指導の改善をします。

<sup>\*1</sup> 学校評議員制度…開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校運営に参画する制度。教育委員会が委嘱する学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し意見を述べることができる。

<sup>\*2</sup> 学校評価…学校が教育活動の重点目標やその実現のための具体的方策を定め、その実施結果や達成状況について、検証・評価を行い、さらにこれを公表することで説明責任を果たし、学校運営の改善を図る仕組み。

<sup>\*3</sup> 9年間を見通したカリキュラム編成…学習規律、授業での約束、発達段階を踏まえた教科指導等についての情報を共有し、カリキュラムを編成する。

#### 施策の内容と今後の方向

市内の全小中学校において、学校ごとに学校評議員会を開催して意見をいただき、学校運営に生かしました。今後も、学校評議員制度を活用し、家庭や地域と連携・協力して、開かれた学校づくりを引き続き進めていく必要があります。

幼・保・小の連携強化を図るため、所沢市幼児教育振興協議会を中心に連携を深めました。市内の幼稚園・保育園・小学校が東西南北・中央の5つのブロックに分かれて、共通の課題を持ち、授業公開や情報交換会を行い、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図りました。

幼児教育と学校教育の滑らかな接続に向けて、埼玉県から出されている「子育ての目安『3つのめばえ』』について、保育園・幼稚園・小学校で活用し、子育ての大切さを伝えました。今後は、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育課程「小1スタートカリキュラム」の定着を、継続的に行っていく必要があります。

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	学校評議員活用事業	所管課	学校教育課	決算額	0千円
事業内容	各小中学校に、学校の必要に応じた人数の学校評議員を委嘱しました。評議員は、学校評議員会や学校評価に係る学校関係者評価等、校長の求めに応じて意見を述べ、学校教育活動の充実に寄与しました。				
評価	コロナ禍の中、子ども・家庭に大きな負担とならないような教育活動を展開してほしいというご意見をいただき、学校教育活動の充実につながりました。				

事業名	「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	所管課	学校教育課	決算額	2,110千円
事業内容	コロナ禍の影響はありましたが、各小・中学校において学び創造アクティブPLUSの趣旨を踏まえ、研究等を進めました。また、進捗状況調査を実施し、成果と課題を校・園長会等で共通理解を図りました。				
評価	研究を通して小中学校で授業の質を高めるとともに、中学校区で共通理解を図ることができました。				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます

<b>主要施策</b>	<b>(1) ICT 環境の整備</b>	所管課	教育センター、学校教育課
-------------	----------------------	-----	--------------

<b>施策の目標</b>	<p>学校における ICT 関連機器の整備を進め、学習環境の充実を進めるとともに、教職員の校務負担を軽減し、子どもと関わる時間の確保を図ります。</p> <p>タブレットや電子黒板等の ICT 機器、校務支援や図書管理のシステム、LAN 環境等のインフラなど、ICT 利活用のための基盤の整備を計画的に進めます。</p>
--------------	--

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>GIGA スクール構想の実現に向けて整備した学習者用コンピュータの効果的な活用に向けて、今後も計画的に ICT 関連機器の整備に努めます。</p> <p>○高額な費用を必要とすることから、計画的な整備と機器を使用する教職員の授業等での活用力、指導力の向上が求められます。</p>
--------------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	<b>教育用インターネット回線整備事業 [新規]</b>	所管課	教育センター	決算額	33,724 千円
------------	----------------------------------	-----	--------	-----	-----------

市内小中学校全校で、学校から直接インターネットに接続できる回線整備を行いました。これにより、GIGA スクール構想で整備した、児童生徒一人ひとりの学習者用コンピュータ(Chromebook)の活用ができる環境が整いました。各学校においては、オンラインドリルや授業支援ソフトの活用をはじめとする授業での活用、またはオンラインで学校と家庭をつなぐ取組等が行われました。

<b>評価</b>	計画通り、令和3年8月末日までに全校で整備が完了したことにより、2学期から学習者用コンピュータの活用が進みました。
-----------	---

<b>事業名</b>	<b>デジタル教科書導入事業(コンテンツ配信サービス導入)[新規]</b>	所管課	教育センター	決算額	15,049 千円
------------	---------------------------------------	-----	--------	-----	-----------

市内小中学校で、インターネット環境を利用して指導者用デジタル教科書のコンテンツ配信サービスを導入いたしました。デジタル教科書のコンテンツを、昨年度すべての普通教室に導入した大型液晶ディスプレイに映すことにより、主に一斉指導の場面での効果的な活用が進みました。

国語・社会・理科、外国語・英語：小5・小6・中1・中2・中3、  
算数・数学：小3・小4・小5・小6、中1・中2・中3

<b>評価</b>	デジタル教科書のコンテンツを活用することで、児童生徒の学習意欲の向上や一斉指導のさらなる充実を図ることができました。
-----------	--

事業名	教育ネットワーク基盤ディスク増設事業 [新規]	所管課	教育センター	決算額	3,148 千円
<p>教育ネットワーク基盤ディスクは、平成 28 年度に市役所 7 階の機械室に構築したもので、令和 3 年 8 月で 5 年が経過しました。この間、小中学校では写真や動画を保存する割合も多く、ファイルサーバのディスクの容量が逼迫してきている状況がありました。このことから、本事業は、教育ネットワークのより安定した運用が図れるように、基盤ディスクを増設いたしました。</p>					
評価	<p>計画通り教育ネットワーク基盤ディスクの増設を完了できました。今後は、各学校の写真や動画をはじめとするファイルを整理し、引き続き安定したネットワークの運用を続けていきます。</p>				
事業名	小学校校務用コンピュータ更新事業 [新規]	所管課	教育センター	決算額	13,426 千円
<p>平成 27 年度に市内小学校に導入した校務用コンピュータの更新と増設分を合わせて、390 台の校務用コンピュータの整備を行いました。</p>					
評価	<p>当初は、令和 3 年 7 月 1 日からの機器更新を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で世界的にコンピュータ等が不足しており、機器の導入を遅らせて令和 3 年 10 月 1 日の更新となりました。</p>				
事業名	小学校教育用コンピュータ周辺機器等更新事業 [新規]	所管課	教育センター	決算額	9,936 千円
<p>平成 27 年度に導入した小学校 16 校分の教育用コンピュータ周辺機器等が、経年劣化により動作が不安定になっていたことから、令和 3 年 9 月に更新を行いました。プリンタ、プロジェクター、書画カメラ、スクリーン等を更新しました。</p>					
評価	<p>GIGA スクール構想で整備した ICT 機器と接続して使うことで、授業等において効果的な活用ができました。</p>				



基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます

主要施策	(2) 学校環境の整備・適正化	所管課	教育施設課、 教育センター、教育総務課
------	-----------------	-----	------------------------

施策の目標	<p>老朽化した学校トイレについては、洋式化やバリアフリー化、臭気対策や給排水管の更新等を行い、学校環境の向上を図ります。</p> <p>小中学校からの要望によりバリアフリー改修を行う際には、児童生徒の障害に応じた必要な配慮をします。</p> <p>学校備品について計画的な整備を行います。</p> <p>学校施設の非構造部材*の耐震化対策を推進します。</p> <p>「所沢市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」により、可能な範囲で校舎内部改修（木質化）事業を進めます。</p> <p>施設の複合化等、学校施設の整備について公共施設マネジメントの考え方に基づき、関係部局と連携して研究します。</p> <p>* 非構造部材…柱や梁などの構造体ではなく、天井材や外壁（外装材）など、構造体とは別に区分された部材。</p>
-------	--

施策の内容と今後の方向	<p>○学校トイレ改修工事は、令和3年度までで校舎1系統目の改修を完了しました。引き続き、校舎2系統目及び新たに屋内運動場のトイレ改修工事を進めます。</p> <p>○バリアフリー改修については、小中学校からの要望に加え、児童生徒の障害に応じた必要な配慮を行います。</p> <p>○非構造部材の耐震化対策については、整備方針に基づき今後も引き続き実施していきます。</p> <p>○令和4年度に南陵中学校の校舎内部改修（木質化）設計の業務委託を実施し、令和5・6年度の2か年で工事を行う予定です。今後も中学校を優先的に行っていく予定です。</p> <p>○学校施設の長寿命化、施設の複合化等の学校施設の整備について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、関係部局と調整のうえ、長寿命化改修等を進めていきます。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	所管課	教育施設課	決算額	450,001千円
平成29年度の台風により崩壊した敷地西側擁壁の復旧工事後、崩壊を免れた周辺の既存擁壁の安全性を高めるための改修及び補修工事を令和2・3年度の継続事業により完了しました。					
評価	昨年に引き続き、工事を進めて、学校活動と工事現場の両立に配慮しながら滞りなく工期内に完了することができました。				

事業名	学校トイレ改修事業	所管課	教育施設課	決算額	582,203千円
学校トイレの老朽化に伴い、洋式化やバリアフリー化、臭気対策や給排水管の更新等の改修工事を小学校5校、中学校1校で実施しました。これにより、全体計画（1系統目）46校全ての工事が完了しました。					
引き続き、次年度の工事に向けて小・中学校校舎2系統目を1校ずつ、また新たに小学校の屋内運動場8校、中学校の屋内運動場4校の設計業務委託をそれぞれ実施しました。					
評価	学校トイレの洋式化等について、計画のとおり設計及び工事を実施し、児童生徒が使いやすいトイレを整備しました。令和3年度までで校舎の洋式化率は、52.7%となっております。				

事業名	小中学校 LED 化整備事業 [ 新規 ]	所管課	教育施設課	決算額	17,149 千円
市内小中学校 47 校の屋内運動場及び武道場の既存照明器具を LED 照明に改修するための調査業務委託及び設計業務委託を発注し、次年度の工事に向けて既存施設の調査や事業の実施方法などを検討しました。					
評価	屋内運動場及び武道場の照明 LED 化に向けて、改修内容を確定するとともに、2 ヶ年というタイトなスケジュールにおいて、効率的に設備の老朽化対策や省エネルギー化を図るため、設計施工一括方式による契約方法にて進めるものとなりました。				
事業名	教育センター新館外壁改修事業 [ 新規 ]	所管課	教育センター	決算額	24,200 千円
教育センター新館は、平成 8 年に建設された施設で築 25 年を経過しており、外壁を塗替えていないため、改修を行いました。					
評価	計画通り工事を実施し、景観の改善及び雨漏りの解消といった施設の安全上適切な管理を図ることができました。				
事業名	小学校施設整備事業	所管課	教育施設課	決算額	49,984 千円
短期予防保全計画に基づき、牛沼小学校外壁改修工事を実施しました。					
評価	学校からの要望を取り入れながら色彩計画や工事計画を策定しました。その計画のとおりにより工事を実施し、改修工事により学校環境の向上を図ることができました。				
事業名	中学校施設整備事業	所管課	教育施設課	決算額	52,998 千円
短期予防保全計画に基づき、所沢中学校受変電設備改修工事や東中学校屋内運動場屋根外改修工事を実施しました。					
評価	所沢中学校については、学校の停電の日程を調整して進めることができました。また、東中学校については、学校からの要望を取り入れながら色彩計画や工事計画を策定しました。その計画のとおりにより工事を実施し、改修工事により学校環境の向上を図ることができました。				
事業名	学校施設修繕・改修事業	所管課	教育施設課	決算額	228,410 千円
北秋津小学校保健室外空調設備改修工事、中央中学校保健室外空調設備改修工事など、経年による機能低下や損傷が進んでいる学校施設の改修工事やその他修繕を行いました。					
評価	日常的に学校から依頼を受ける修繕について、臨機かつ迅速な対応を行いました。修繕にあたり、学校活動に配慮しながら、児童生徒の安全と学習環境の改善を図る事ができました。				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります				
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます				
主要施策	(3) スポーツ活動の支援と環境整備	所管課	スポーツ振興課		
施策の目標	<p>スポーツ施設の計画的な修繕や改修工事等を行い、安全に利用できるよう施設整備に努めます。</p> <p>スポーツ施設を予約する公共施設予約システムを適切に管理・運営し、利便性の維持・向上に努めます。</p> <p>学校教育に支障がない範囲で学校施設(体育館や校庭等)を開放することにより、地域に根ざしたスポーツ活動を促進し、広く市民にスポーツ活動の場を提供します。</p> <p>スポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者の確保・育成に努めるとともに、研修会等により指導者の指導技術の更なる向上を図ります。</p> <p>各種スポーツ団体が主体的・積極的に活動を展開できるよう支援します。</p>				
施策の内容と今後の方向	老朽化する施設の現状と将来を見据え、安全に利用できるよう計画的な修繕や工事等の施設整備に努めます。				
主な事業の実施状況・評価					
事業名	所沢市民体育館サブアリーナ雨水貯留槽防水事業[新規]	所管課	スポーツ振興課	決算額	23,650千円
所沢市民体育館のサブアリーナにある雨水貯留槽に亀裂が生じ漏水が起こっていたため、改修工事を行いました。					
評価	施設の安全上適正な管理ができるようになりました。				
事業名	総合運動場夜間照明灯LED化整備事業[新規]	所管課	スポーツ振興課	決算額	46,552千円
所沢市総合運動場野球場とテニス場及び駐車場照明灯を省電力、長寿命であるLED化する工事を行いました。事業にあたってはスポーツ振興くじ助成金(助成割合の3分の2×80%:16,000,000円)を利用しました。					
評価	とても明るくなり、利便性・快適性が向上し、施設利用者からも好評です。				
事業名	北中運動場用地貸付事業[新規]	所管課	スポーツ振興課	決算額	1,430千円
北中運動場の敷地の一部を所沢市弓道連盟に弓道場用地として貸付を行い、弓道場利用者の活動の場を確保するものです。令和3年度は弓道場用地の測量分筆登記を実施し敷地を確定させました。また、弓道連盟と土地賃貸借契約締結へ向けての方針確認として中間覚書を締結しました。					
評価	弓道場用地の敷地が確定しました。また、弓道連盟と中間覚書を締結したことで本契約へ向けての準備が整いました。				
事業名	富岡地区体育館屋根及び外壁改修事業[新規]	所管課	スポーツ振興課	決算額	78,430千円
「所沢市公共建築物修繕計画」に基づき、施設の延命化を図りました。					
評価	施設の安全上適正な管理ができるようになりました。				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます

<b>主要施策</b>	<b>(4) 社会教育施設の環境整備</b>	所管課	社会教育課、所沢図書館 生涯学習推進センター
-------------	------------------------	-----	---------------------------

<b>施策の目標</b>	<p>市民の学習ニーズに応え、地域で活発な社会教育活動が行えるよう、公民館や図書館等の社会教育施設を安全かつ適正に管理・運営するため、計画的な修繕や改修工事を行うなど整備に努めます。</p> <p>学習施設等を予約する公共施設予約システムを適切に管理・運営し、利便性の維持・向上に努めます。</p>
--------------	---

<b>施策の内容と今後の方向</b>	<p>老朽化する社会教育施設の計画的な修繕により、安全かつ適正な管理を行い、学習環境の維持を図ります。</p> <p>生涯学習推進センターのエレベータ棟で雨漏りがあったため、防水修繕を行いました。昭和 59 年に開校した小学校の校舎を転用して開設しており、施設の外壁等の老朽化により雨漏りが随所にみられるため、計画的な管理、修繕が必要です。</p> <p>○公共施設予約システムについては、現システム契約の終了(令和 6 年度)を視野に、関係各課と計画的な検討・協議を進めます。</p>
--------------------	---

#### 主な事業の実施状況・評価

<b>事業名</b>	公民館施設整備事業(吾妻公民館排煙オペレーター改修工事)[新規]	所管課	社会教育課	決算額	16,500 千円
<b>評価</b>	<p>老朽化に伴い開放不良となっている排煙窓があり、火災発生時に建物内の人が煙にまかれることなく安全に避難できるよう煙を外に出すための設備であるので、安全を確保するために改修を行いました。</p> <p>開閉不良となった 39 箇所の排煙オペレーター(排煙窓の開閉装置)を改修しました。災害対策及びコロナ禍での換気による感染防止対策の一助となりました。</p>				

<b>事業名</b>	公民館施設整備事業	所管課	社会教育課	決算額	186,274 千円
<b>評価</b>	<p>老朽化する施設について、「短期予防保全計画」に基づき、公民館施設の 4 件の改修工事を実施しました。</p> <p>【改修内容】 柳瀬公民館空調設備改修工事 柳瀬公民館受変電設備改修工事 富岡公民館非常用発電設備改修工事 松井公民館自動昇降機改修工事</p> <p>施設改修の実施により、施設の利便性が高まりました。柳瀬公民館の空調設備改修工事では環境への影響などを踏まえ、全館一体方式から、部屋ごとに系統を分ける個別方式に変更しました。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます

主要施策	(5) 就学にかかる経済的支援	所管課	教育総務課、保健給食課
------	-----------------	-----	-------------

施策の目標	<p>経済的な理由により就学が困難と認められる世帯に対し、経済的負担を軽減するため、給食費や学用品費等の一部を援助する「就学援助事業」を推進します。</p> <p>特別支援学級等に就学する児童生徒の世帯に対して、経済的負担を軽減するため、給食費や学用品費等の一部を援助する「特別支援教育就学奨励事業」を推進します。</p>
-------	---

施策の内容と今後の方向	<p>依然として経済的な理由で子どもを就学させることが困難な保護者が多く、すべての児童生徒の保護者が就学援助事業の情報を得られるよう、徹底した周知を行い、保護者負担軽減に努めます。</p> <p>特別支援学級・通級指導教室に在籍・通級する児童生徒は、遠方の学校に通学するため、交通費等、通常学級に通う場合より、保護者の経済的負担が大きくなる傾向にあるため、今後も本事業を継続していきます。</p>
-------------	--

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	就学援助事業	所管課	教育総務課、保健給食課	決算額	278,516千円
	<p>経済的に困窮している世帯に対し、就学にかかる経費の一部を援助しました。</p> <p>【援助対象】・準要保護認定者：小学生 2,073 人、中学生 1,235 人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護（生活保護）世帯のうち修学旅行費支給者：小学生 32 人、中学生 24 人</li> <li>・要保護世帯のうち医療費支給者：小学生 4 人、中学生 1 人</li> </ul> <p>【援助内容】給食費、学用品、通学用品、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、林間学校費 修学旅行費、体育実技用具費（中学校）、医療費（指定された疾患のみ）</p> <p>【新たな取組】就学援助の認否は前年の所得で判定しますが、一度否認定となった世帯であっても、現時点の収入状況を加味して審査する再審査制度を設けています。再審査で認定となるには、これまで3つの基準を満たす必要がありましたが、1つの基準（直近の年間所得見込額が認定基準以内であるか）のみに変更することで、支援を受けやすくする体制を整えました。</p>				
評価	<p>再審査の審査方法変更による支援の拡充〔再審査認定率：(R2) 74% (R3) 86%〕、事業の周知の強化、運用を改善し、保護者負担の軽減に寄与できました。</p> <p>主たる生計維持者の死亡に伴う家計急変世帯、生活保護の廃止世帯など、新たに支給対象になりうる世帯への制度周知を学校と連携し、より一層強化していく必要があります。</p>				

基本方針	3 地域とともに社会に対応した教育環境をつくります		
基本目標	3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます		
<b>主要施策</b>	<b>(6) 多様なニーズに対応した教育機会の提供</b>	所管課	教育センター、学校教育課
<b>施策の目標</b>	○経済的な理由や家庭の状況から、日本語の理解が困難な帰国児童生徒や外国人児童生徒に対し、個々の状況に応じた適切な支援を行います。		
<b>施策の内容と今後の方向</b>	外国人児童生徒の編入増加と国籍の多様化により、日本語教室講師派遣へのニーズが高まることが予想されま す。今後も、日本語教室による支援の更なる充実を図るため、予算請求等を計画的に進めていきます。		

#### 主な事業の実施状況・評価

事業名	教育課題に対応した学力向上推進事業	所管課	教育センター	決算額	1,314 千円
	日本語の理解が困難な「外国人児童生徒や海外帰国児童生徒」に対して、学校生活に適應できるよう基本的な日本語や生活習慣等を身に付けるための支援を行いました。				
	日本語以外を母語とする 8 人が日本語講師として登録し、日本語を母語とする 6 人が日本語ボランティアとして登録しています。日本語教室は、原則 1 回 2 時間、10 回を 1 クールとして実施しました。				
評価	日本語教室に参加した児童生徒は、生活に用いる言葉を中心に日本語の理解が深まり、自信をもって学校生活を送ることができるようになりました。市内小中学校で延べ実施時間数 996 時間、講師を派遣しました。				

### (3) 指標の達成状況

基本方針 1	子どもたちが未来へ主体的に歩む土台を築きます
--------	------------------------

#### 基本目標 1 未来への一歩となる確かな学力と自立する力を育てます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び*1	2.0レベル	—	2.0レベル	毎年度 2.0レベル	100.0
学力向上推進事業における研究委託校数*2 (各学校における研究実践とその成果の発表により、市内全小中学校の教育力向上を図るために研究を委託した年間の学校数)	20校	1校	21校	20校	100.0
小学校における外国語教育についての研修実施率*3 (教員を対象にした外国語に関する校内研修等を実施した割合)	25%	0%	6%	100%	6.0
ICTを活用して指導できる教員の割合 (電子黒板等のICTを活用して情報教育を指導できる小中学校教員の割合)	65.95%	69.75%	73.87%	100%	73.9

\*1…埼玉県学力・学習状況調査における前年度からの同学年における学力(国語、算数・数学、英語)の伸びの平均。学力の伸びは、小4～中3までレベル1～12まであり、各レベル内でさらにA～Cの3層に分かれ算出される。

※「どのくらい難しい問題を解く力があるか。」を学力のレベルで表している。レベルが上がるほど、難易度の高い問題を解く力がある。

※「埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び」について、実績値の根拠となる埼玉県学力・学習状況調査が、令和2年度はコロナ禍により例年どおり実施できず、前年度と比較できる実績を得られなかったことにより「—」表示とした。

\*2…「学力向上推進事業における研究委託校数」について、令和2年度はコロナ禍により例年どおり実施できず、1校のみで実施。

\*3…令和2年度はコロナ禍により、研修会を実施できず。

## 基本目標 2 一人ひとりが持っている思いやりのある豊かな心を育てます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>学校の先生や友達は、自分のよいところを認めてくれていると考える児童生徒の割合</b> (埼玉県学力・学習状況調査における該当の質問に「はい」と答えた児童生徒の割合)	89.2%	—	91.2%	92%	99.0
<b>学校図書館の年間一人あたりの貸出冊数</b>	小学校 22.6冊 中学校 12.2冊	小学校 21.7冊 中学校 8.7冊	小学校 27.7冊 中学校 11.4冊	小学校 24冊 中学校 13冊	小学校 115.4 中学校 87.7
<b>小中学校のいじめの解消率</b> (小中学校における12月末日現在のいじめの解消率*4)	51.2%	48.7%	50.9%	64%	79.5

\*4…いじめが解消している状態とは、相当期間(3か月を目安)いじめが止んでいること、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが要件。1月以降も継続指導、経過観察を行っており、年度末には概ね解消している。目標値64%は、県のH29の解消率と同一である。

※「学校の先生や友達は、自分のよいところを認めてくれていると考える児童生徒の割合」について、実績値の根拠となる埼玉県学力・学習状況調査が、令和2年度はコロナ禍により例年どおり実施できず、前年度と比較できる実績を得られなかったことにより「—」表示とした。

## 基本目標 3 心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>むし歯の処置率</b> (小中学校の健康診断で治療勧告されたむし歯の処置率)	小学校 78.1% 中学校 71.9%	小学校 73.2% 中学校 68.5%	小学校 70.8% 中学校 68.9%	小学校 90% 中学校 85%	小学校 78.7 中学校 81.1
<b>学校給食センターの再整備*5</b>	老朽化した学校給食センター 2施設	—	—	再整備した学校給食センター 1施設	—
<b>給食の残食率</b> (小中学校全体の残食率*6)	6.3%	5.46%	5.87%	毎年度7%以下	119.3
<b>体カテストにおける上位ランクの児童の割合(小学校)*7</b>	78.9%	—	74.0%	80%	92.5
<b>体カテストにおける上位ランクの生徒の割合(中学校)*7</b>	87.9%	—	83.6%	89%	93.9

\*5…まずは、第3学校給食センターの代わりとなる新学校給食センターを整備する。

\*6…過去5年間の平均残食率は5.8%。現状値よりも高い残食率にある学校を減少させていくよう努めていくものとする。

\*7…新体カテストの総合評価(文部科学省が示すテストの種目ごとの得点から換算)が5段階中の上位3ランクの評価となった児童生徒の割合

※小中学校の体カテストは、令和2年度はコロナ禍により例年どおり実施できず、前年度と比較できる実績を得られなかったことにより「—」表示とした。



基本方針 2	学びの絆ひろがる豊かな人づくり・地域づくりを進めます
--------	----------------------------

基本目標 1 生涯学習・社会教育が育む学びの絆をひろげます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>教育委員会で実施の生涯学習 関連事業数</b> (教育委員会の各部署が実施した 生涯学習関連事業の件数)	43件	36件	48件	50件	96.0
<b>生涯学習ボランティア人材バ ンクの登録者数</b> (資格・経験を活かしたい人を登 録し、学びたい人に紹介する人材 バンク制度への登録者数)	117件	103件	104件	145件	71.7
<b>人権講座の参加者数</b> (ブロック別研修会などの人権教 育の講座に参加した人数)	762人	257人	293人	790人	37.1
<b>公民館事業のうち市民等と協 働で企画実施した事業の割合</b> (実行委員会を組織して企画運営 するなど、市民等と協働で実施し た事業の割合)	58.8%	38.0%	42.2%	64%	65.9

基本目標 2 誰もが、いつまでも 身体を動かしたくなるまちをめざします

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>週1回以上スポーツを実施す る成人の割合</b> (スポーツ実施率)	38.2%	59.2%	62.5%	50%	125.0
<b>「ところざわほっとメール」 における「スポーツ情報」の 利用登録者数</b>	4,554人	6,506人	7,020人	6,300人	111.4
<b>市ホームページ等のスポーツ 情報発信数</b> (市内のスポーツイベント等の情 報発信回数)	213回	274回	213回	300回	71.0

基本目標 3 生涯の学びを支える身近な情報拠点としての図書館をめざします

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>レファレンス件数</b> (専門的な調査を要する市民からの質問に対し、図書館資料や情報検索機能を活用して回答した数)	1,217件	930件	816件	1,367件	59.7
<b>貸出密度</b> (市民1人あたりの貸出数)	4.7冊・点	3.8冊・点	4.5冊・点	5.0冊・点	90.0
<b>図書館の蔵書数</b> (適正な蔵書管理による図書館全館の図書資料【雑誌・視聴覚資料を除く、紙芝居を含む】の蔵書数)	967,022冊・点	999,432点	1,006,398点	1,034,000冊・点	97.3
<b>子ども1人あたりの児童書数</b> (0歳から18歳の子ども1人あたりの市立図書館が所蔵する児童書数)	5.8冊・点	6.2冊・点	6.3冊・点	6.4冊・点	98.4

基本目標 4 歴史・伝統文化を大切にしふるさと所沢の魅力を高めます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>文化財保護にかかる事業の参加者数</b> (文化財保護課の主催事業の参加者数と埋蔵文化財調査センターと民俗資料館の利用者数)	9,450人	3,367人	6,044人	11,600人	52.1
<b>ふるさと研究活動にかかる延利用者数</b> (展示見学者・講座参加者・閲覧学習室利用者の延総数)	5,882人	3,587人	2,919人	6,150人	47.5
<b>郷土資料利用件数</b> (資料利用許可数と閲覧学習室の利用件数)	389件	1,500件	700件	440件	159.1

基本方針 3	地域とともに社会に対応した教育環境をつくります
--------	-------------------------

基本目標 1 社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>家庭教育学級の学級生数</b> (小中学校で開設される家庭教育学級の学級生数〔保護者等〕の人数*8)	3,003人	979人	1,437人	3,000人以上	47.9
<b>子ども写生大会事業参加者数</b> (子ども写生大会と作品展の大人と子どもの参加者数)*9	3,116人	—	—	3,300人	—
<b>青少年教育地域指導者研修会満足度</b> (研修会後に実施したアンケート調査で「とてもよかった」と回答した人の割合)*9	80%	—	53%	100%	53.0

\*8…少子化に伴い保護者の減少が予想されるが、現状維持に努めていくものとする。

\*9…「子ども写生大会事業参加者数」は令和2年度及び3年度、コロナ禍で中止したことにより「—」表示とした。「青少年教育地域指導者研修会満足度」は、令和2年度、コロナ禍で研修会を中止したことにより「—」表示とした。

基本目標 2 地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数</b> (市内小中学校において学校応援団として活動に携わった実人数の合計)	5,603人	5,196人	4,088人	6,110人	66.9
<b>小中連携の推進に向け、「目指す児童生徒像」や「重点目標」を設定し、9年間を見通したカリキュラムを編成している小中学校の割合*10</b>	12.8%	20%	40%	100%	40.0
<b>教育センターが実施する教職員研修の満足度</b> (参加者アンケートで「大変よかった」「ややよかった」の合計が100%となった研修会の割合)	84%	59.4%	98%	100%	98.0

\*10…カリキュラムとは、学習規律、授業での約束、発達段階を踏まえた教科指導等、教育課程の中での「目指す児童生徒像」を具現化したもの

基本目標 3 時代に応じ可能性を広げる教育環境を築きます

指 標	計画策定時 (平成29年度)	前年度実績値 (令和2年度)	最新値 (令和3年度)	目標値 (令和5年度)	達成率(%)
<b>普通教室のLAN整備率</b> (小中学校の普通教室で教育ネットワークを活用した授業が可能となる割合)	0%	100%	100%	100%	100.0
<b>市内小中学校における電子黒板の導入割合*11</b> (「ICT環境整備」に資する電子黒板の導入割合)	17%	100%	100%	45%	100.0
<b>学校トイレの洋式化率</b> (所沢市立小中学校のトイレの洋式化率)	35%	48.2%	52.7%	53%	99.4
<b>スポーツ・レクリエーション施設利用者数</b> (屋内・屋外スポーツ施設の年間利用者数)	858,492人	447,201人	639,557人	861,500人	74.2

\*11…令和2年度に児童生徒1人1台の学習者用コンピュータを整備したことにより、全ての普通教室及び一部の特別教室に大型提示装置が早急に必要となったことから、導入装置を電子黒板から液晶ディスプレイに変更し、全ての普通教室に液晶ディスプレイを導入した。

## 6 資料・教育委員会の活動状況

### (1) 令和3年度教育委員会会議の開催状況

#### 定例会

年月	付議事件
令和3年4月	所沢市就学支援委員会委員の委嘱について
	所沢市立所沢図書館設置条例の一部を改正する条例制定について
6月	所沢市社会教育委員の解嘱および委嘱について
	所沢市公民館運営審議会委員の委嘱について
	所沢市就学支援委員会委員の委嘱について
	所沢市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
7月	所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針策定委員会委員の委嘱について
	令和4年度使用中学校教科用図書について
	所沢市立所沢図書館所沢分館等の指定管理者の指定について
	所沢市立所沢図書館新所沢分館等の指定管理者の指定について
	令和3年度教育委員会予算(9月補正)について
	令和4年度使用小・中学校教科用図書の採択について
8月	令和3年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について
	令和4年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について
	所沢市教育委員会職員(管理職)の人事異動について
9月	所沢市生涯学習推進センター運営協議会委員の委嘱について
	令和4年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針について
10月	令和3年度所沢市教育功労者の表彰について
	令和3年度所沢市教育功労者(追加)の表彰について
	所沢市学校給食センター再整備事業の契約締結について
	令和3年度教育委員会予算(12月補正)について
	令和4年度教育委員会当初予算について
11月	所沢市学校医等の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
12月	所沢市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について
	令和3年度教育委員会予算(3月補正)について
令和4年2月	令和3年度教育委員会予算(3月補正・追加)について
	令和4年度教育委員会当初予算(補正)について
	県費負担教職員(管理職)の人事に関する内申について
3月	所沢市学校医等の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	令和4年度所沢市教育行政推進施策について
	所沢市スポーツ推進審議会委員の解嘱について
	所沢市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
	所沢市教育委員会職員(管理職)の人事異動について

教育委員会会議の会議録は、市のホームページに掲載しております。

## 協議事項

年 月	付 議 事 件
令和3年5月	合唱コンクール（上位大会につながるもの）への参加に向けた市内中学校合唱部等生徒のPCR検査の実施について
6月	令和4年度所沢市立所沢第二幼稚園園児募集について
7月	令和3年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について
8月	所沢第二幼稚園の今後の見通しについて
9月	令和3年度全国学力・学習状況調査 調査結果の取扱いについて
令和4年2月	令和4年度所沢市教育行政推進施策について
	令和4年度以降の「成人のつどい」の名称について

## 視察

年 月	視 察 場 所
令和3年5月	荒幡小学校 南小学校 林小 三ヶ島小
9月	所沢第二幼稚園
10月	松井小学校通学路 七曲り通り

## 教育懇談会

年 月	懇 談 内 容
	コロナ禍の影響により中止

## その他

活 動 内 容
埼玉県市町村教育委員会連合会総会（書面決議） 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会（書面決議） 人間地区教育委員会連合会視察研修 市内小中学校卒業式及び運動会・体育祭 所沢第二幼稚園卒園式 所沢市成人のつどい

## （ 2 ） 令和 3 年度教育費予算・決算

令和3年度教育費（歳出）の当初予算額は105億7,468万円で、市費全体の中で占める割合は9.8%、決算額は121億3,739万円で、市費に占める割合は9.5%でした。

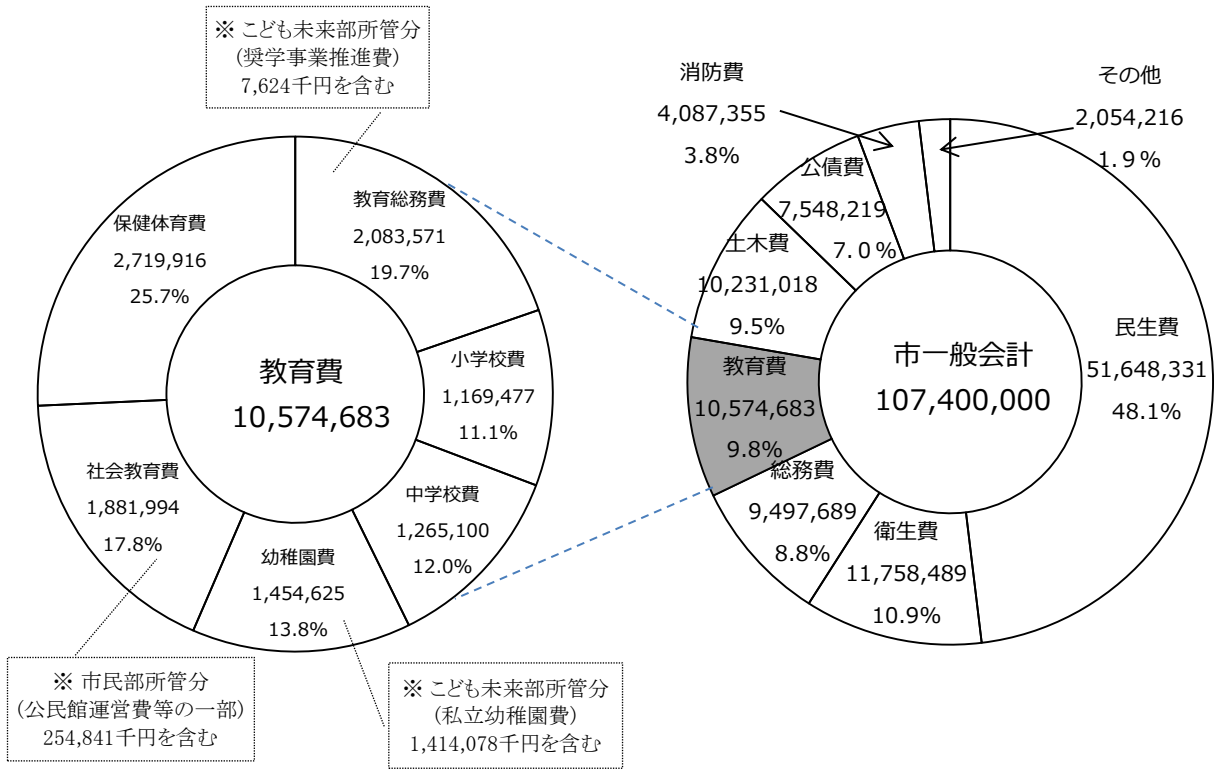
決算額のうち、教育費を市民一人あたり<sup>\*1</sup>に換算すると35,261円、小学校費・中学校費の合計額を児童生徒一人あたり<sup>\*2</sup>に換算すると168,165円となります。

\*1 市内の人口 344,220人（令和3年5月1日現在）

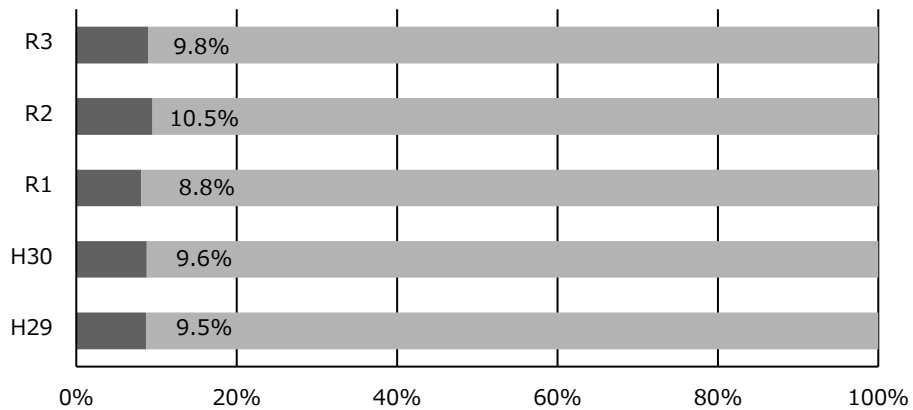
\*2 児童生徒数 小学校16,162人、中学校7,885人 合計24,047人

（学校基本調査による児童・生徒人数 令和3年5月1日現在）

令和3年度当初予算（単位：千円）



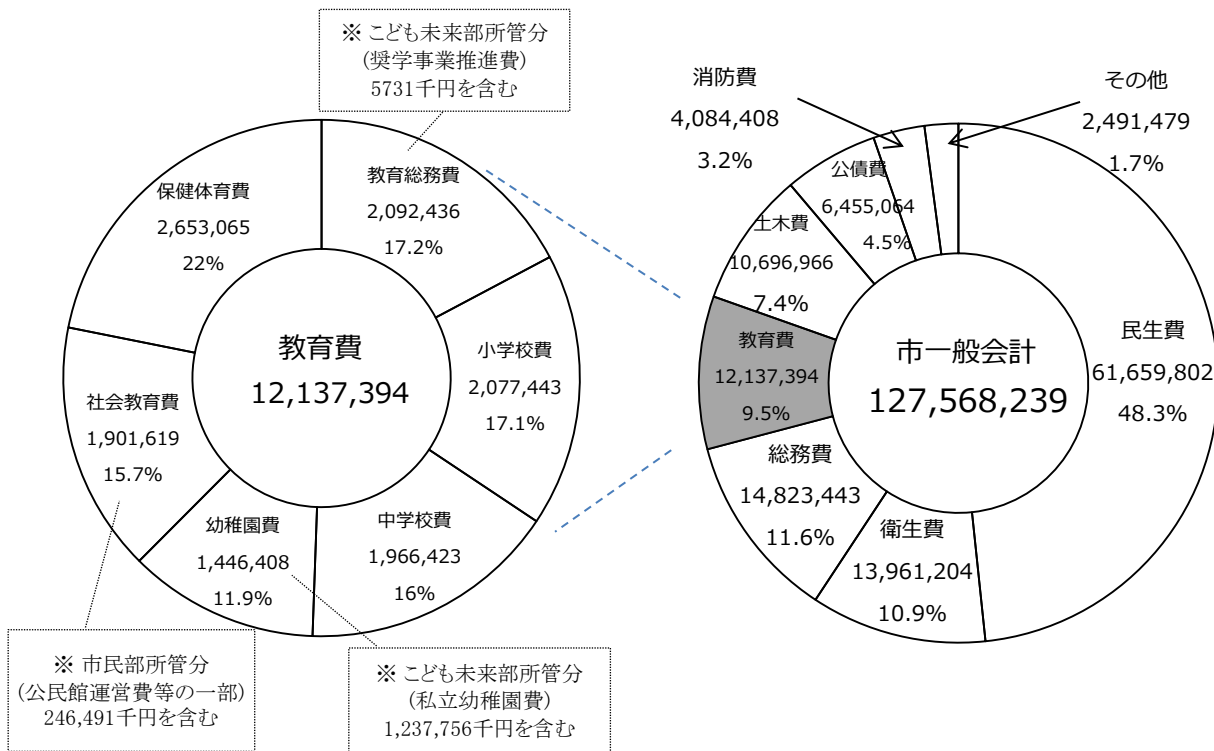
市費に占める教育費の割合の推移



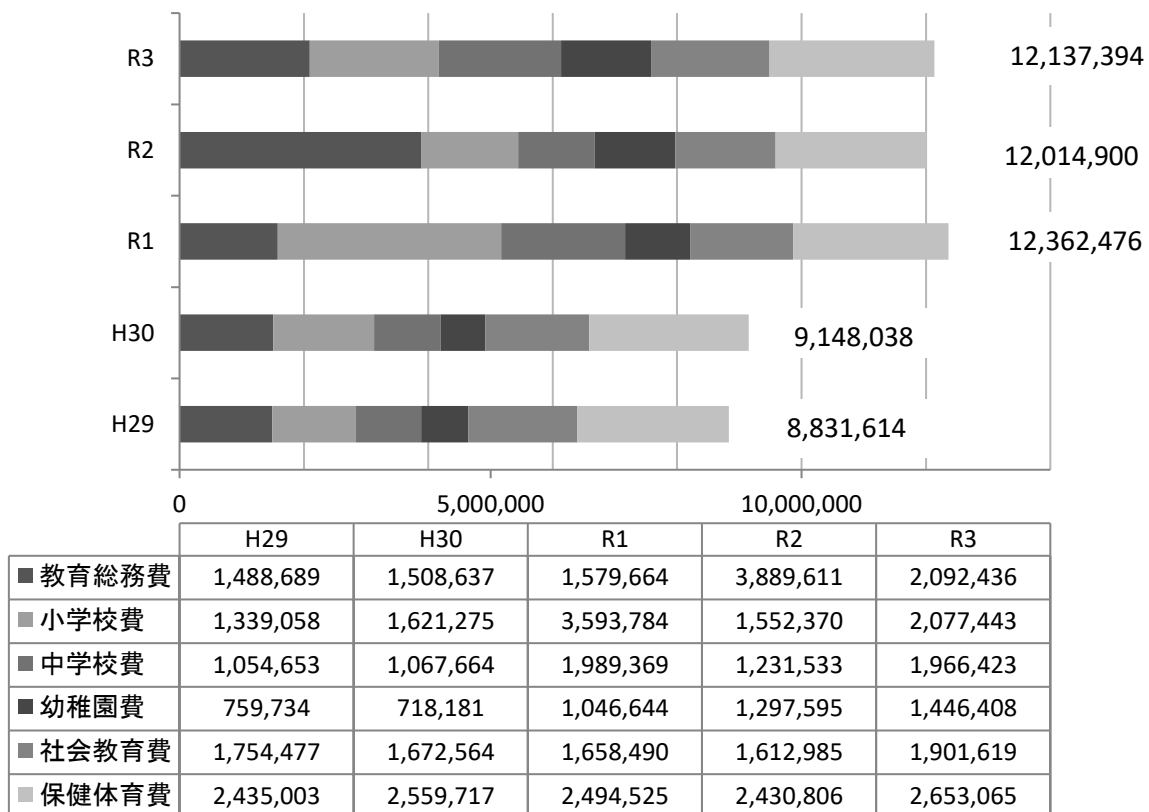
	H29	H30	R1	R2	R3
■ 教育費(千円)	9,245,305	9,669,484	9,647,917	11,184,777	10,574,683
■ 市費(千円)	96,940,000	100,250,000	109,480,000	106,400,000	107,400,000
■ 割合 (%)	9.5%	9.6%	8.8%	10.5%	9.8%

※当初予算

令和3年度決算（単位：千円）



項目別教育費決算額の推移



※単位：千円



## 7 むすび

所沢市教育委員会では、令和2年3月に策定した「所沢市第2次所沢市教育振興基本計画（令和元年度～令和5年度）」に基づいて教育行政を推進しており、この点検評価は、基本計画に掲げた主要施策について行っています。

施策ごとに点検評価を行うことで、計画の進捗状況を適切に把握すると共に、各施策に対応する主な事業の実施状況も併載し、事業ごとに実施状況の確認ができるよう作成しています。

点検評価の結果を総合的にみると、令和3年度に教育委員会が取り組んだ事業は、コロナ禍の影響を受け、目標を達成できていない事業もあり、今後は新しい生活様式に対応した取組を行う等、さらなる事業の推進に励むことが求められます。

教育委員会は、「みんなが持っている三つの”宝”」すなわち「心身のたくましさ」、「未来を拓く知恵」、「ふるさと所沢を愛する心」を掘り起こして大きく育てる、という基本理念のもと、目標の実現に向けて、引き続き努力していく必要があると考えます。

今回の点検評価によって明らかになった課題に対し、学識経験者からいただいた意見を参考にして各事業の改善に取り組み、今後も効果的な教育行政の推進に努めてまいります。



教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書

令和4年8月

発行 所沢市教育委員会（教育総務部教育総務課）

〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1

TEL 04-2998-9232

FAX 04-2998-9128

E-mail [a9232@city.tokorozawa.lg.jp](mailto:a9232@city.tokorozawa.lg.jp)